

広 報 資 料

(市 政 ， 経 済 同 時)

平 成 1 9 年 7 月 1 1 日

京 都 市 産 業 観 光 局

(担 当 : 商 工 部 経 済 企 画 課 TEL 075-222-3333)

市 内 中 小 企 業 の 景 況 に つ い て

(第 83 回 京 都 市 中 小 企 業 経 営 動 向 実 態 調 査)

市 内 中 小 企 業 の 経 営 実 態 ， 経 営 動 向 な ど を 把 握 す る た め ， 四 半 期 ご と に 郵 送 に よ る アン ケ ー ト 調 査 と し て 実 施 し て い ま す 「 京 都 市 中 小 企 業 経 営 動 向 実 態 調 査 」 の 調 査 結 果 が ま と ま り ま し た の で ， 報 告 し ま す 。

京 都 市 中 小 企 業 経 営 動 向 実 態 調 査 の 概 要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 19 年 6 月
- ・ 調査対象期間 平成 19 年 4 月 ~ 6 月 期 (3 箇 月 実 績) / 平 成 19 年 7 ~ 9 月 期 (3 箇 月 見 通 し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 370 社 非製造業 430 社 計 800 社 対 し アン ケ ー ト を 送 付 。 528 社 が 回 答 (回 収 率 66.0%)

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	251 (47.5)	非製造業	277 (52.5)
西陣	30 (5.7)	卸売	65 (12.3)
染色	32 (6.1)	小売	70 (13.3)
印刷	28 (5.3)	情報通信	15 (2.8)
窯業	21 (4.0)	飲食・宿泊	30 (5.7)
化学	15 (2.8)	サービス	54 (10.2)
金属	18 (3.4)	建設	43 (8.1)
機械	33 (6.3)	不明	0 (0.0)
その他の製造	74 (14.0)	合 計	528 (100.0)

- DI = Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加、上昇などと回答した企業の企業割合から、減少、低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として、それより上である場合は、上向き傾向を表す回答が多いことを示し、下である場合は、下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

第 73 回 調 査 か ら ， DI の 範 囲 を 今 ま で の 「 -100 ~ 100 」 か ら 「 0 ~ 100 」 に 変 更 し て い る 。 そ れ に 伴 い ， 過 去 の DI 値 も 今 回 の 範 囲 に 収 ま る よ う に 換 算 し て い る 。

DI 値 対 応 表

~ 第 72 回	第 73 回 ~
-100	0
0	50
100	100

- ・ 過 去 DI の 換 算 方 法 : (過 去 の DI 値) × 1/2 + 50

➤ 中 小 企 業 の 定 義

中 小 企 業 基 本 法 に 基 づ き ， 業 種 別 に 以 下 の と お り に 設 定 し て い る 。

業 種	従 業 員 規 模 / 資 本 金 規 模
製 造 業 ， そ の 他 の 業 種	300 人 以 下 又 は 3 億 円 以 下
卸 売	100 人 以 下 又 は 1 億 円 以 下
小 売	50 人 以 下 又 は 5,000 万 円 以 下
サ ー ビ ス (情 報 通 信 ， 飲 食 ・ 宿 泊 を 含 む 。)	100 人 以 下 又 は 5,000 万 円 以 下

こ の 広 報 資 料 に つ い て は ， イン タ ー ネ ッ ト ホ ー ム ペ ー ジ で も 御 覧 い た だ け ま す 。

URL <http://www.city.kyoto.jp/sankan/keiki/keikyo/keikyo.htm>

調査結果概要

1. 景気動向調査について

製造業、非製造業ともに、同業他社との競争が厳しく景気 DI は低下。原材料相場の高止まりなどを背景に、景気の足踏み状態が続く。
 来期の企業景気見通し DI は、製造業では技術力の向上や営業の強化などにより上昇している。一方、非製造業はわずかな上昇にとどまる。

(1) 今期実績 平成 19 年 4 月～6 月期

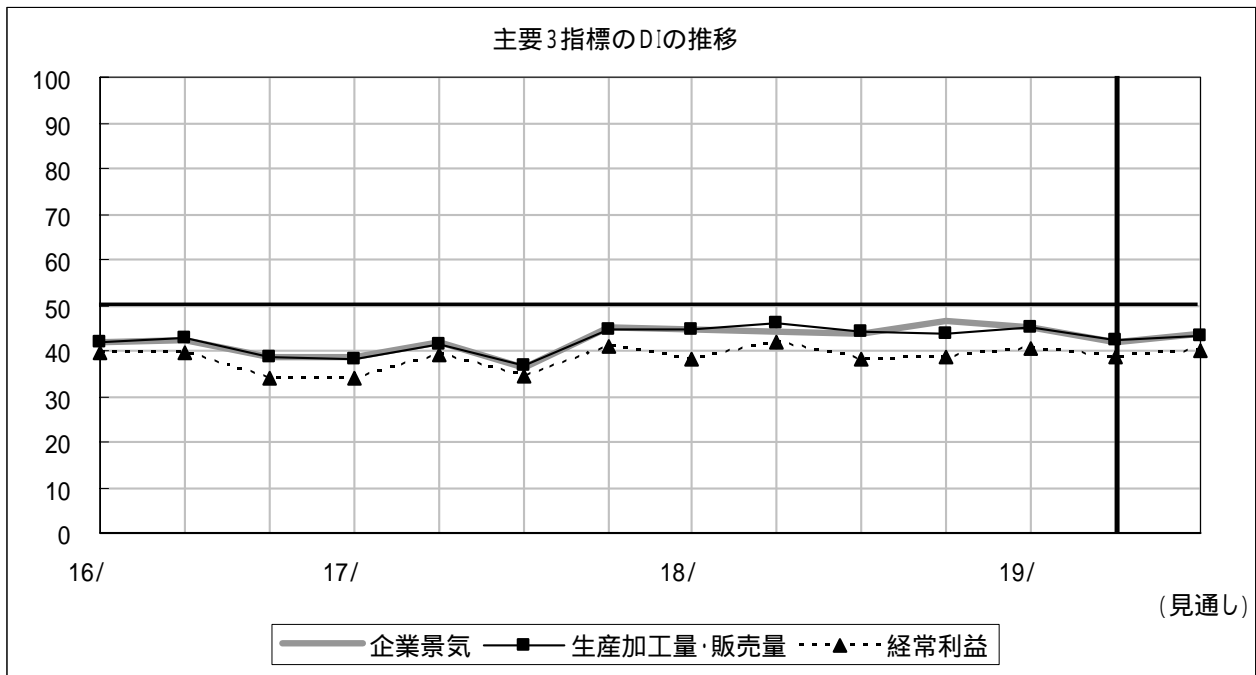
今期（平成 19 年 4 月～6 月期）の全業種の主要 3 指標 DI は、企業景気 DI が 41.7 と前期と比較し、3.4 ポイントの低下となった。生産加工量・販売量 DI は、42.4 で同 2.8 ポイント低下、経常利益 DI は、38.8 で同 1.8 ポイント低下となった。

・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	41.7 (3.4)	42.4 (2.8)	38.8 (1.8)
(製造業)	41.2 (2.8)	43.0 (0.9)	37.7 (1.5)
(非製造業)	42.3 (3.8)	41.8 (4.7)	39.8 (2.1)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。 は上昇、 は低下を示す。）

・主要 3 指標の DI の推移



前回わずかに低下していた企業景気 DI が、さらに低下した。

製造業においては、昨年のおけるグループ倒産の影響で DI が低水準にあった西陣及び染色が、「付加価値の高い自社ブランド商品の販売が堅調」（上京区 / 西陣）、「市場環境に合った商品開発により受注が堅調」（上京区 / 西陣）、「同業他社の廃業・倒産により受注が増加」（右京区 / 染色）のように、独自のオリジナル商品の販売展開や、同業他社の倒産に伴い得意先が増加したことにより、改善したケースが見られる。また、前回 DI が大きく落ち込んでいた機械は、「新設備や加工技術力が評価され、大手得意先からの受注が増加」（南区 / 機械）と、生産体制の強化で上昇した。しかし、前回 DI が上昇の印刷、金属及びその他製造が、「競争により販売単価が低下し、仕入単価の上昇分をカバーできない」（左京区 / 印刷）、「得意先の海外移転に伴い、受注量が減少」（南区 / 金属）、「得意先の在庫調整により受注が低迷」（右京区 / その他製造）と、同業

他社との競争激化,得意先の営業体制変化により低下した。加えて,「地場産業の清水焼の売り上げが伸び悩んだ」(東山区/窯業),「原材料が3%値上がりしているが,価格転嫁ができない」(山科区/化学)と,地場産業の停滞や原材料相場の高止まりを背景に,窯業と化学も低下するなど,5業種が低下した影響が大きく,製造業全体として企業景気DIの低下につながった。

非製造業においては,「企業の内部統制強化に伴うシステム受注が増加」(下京区/情報通信),「立地条件を重視した店舗出店で来店客が増加」(中京区/飲食・宿泊)のように,内部統制意識の高まりや店舗出店の効果により,前回の予測どおり情報通信と飲食・宿泊のDIが上昇したのをはじめ,「営業力,情報力の強化により受注件数が増加」(下京区/建設)と,自社の営業努力により建設のDIも上昇した。反面,「得意先の吸収合併や,倒産などにより販売数量が減少」(右京区/卸売),「インターネット社会となり広告媒体の減少」(上京区/サービス)など,得意先数の減少や市場環境の変化により,卸売とサービスのDIが大きく低下したのをはじめ,「大型店やコンビニエンスストアとの競争により販売数量及び単価が低下」(上京区/小売)と,近隣店舗との競争で,小売のDIもやや低下した。こうした背景により,非製造業の企業景気DIも低下し,全体の景況感を押し下げている。

なお,観光関連についても,「京都への修学旅行が伸び悩み,利用人数が減少した」(下京区/サービス),「消費者の購買意欲が盛り上がりず売り上げは減少」(中京区/小売)と,修学旅行生客の減少や購買意欲の低迷などでDIは低下している。

京都市内においては,昨年のお手元業者の倒産以降,伝統産業である呉服関連を取り巻く環境は厳しい状態が続き,倒産や廃業件数も増加傾向にあるものの,今回調査では市場動向を見極め,他社と商品の差別化を図った営業展開により,西陣の企業景気DIが改善した。また,生産体制の強化や自社営業努力により,機械や建設等もDIが上昇した。しかしながら,同業他社との競争激化,得意先の生産拠点が海外へ移行したことや倒産等の要因で,金属,化学,卸売及びサービスの企業景気DIが大きく低下した。さらに,原材料をはじめ仕入原価が高止まりする中,企業体力のある大手企業との競争で,販売価格に転嫁できず,収益が圧迫されている中小零細企業も多く,いまだ景気回復には至っていない。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は,5業種,いずれも低下した業種は,6業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	32.8 (12.1)	31.7 (12.7)	27.6 (12.1)
建設	47.6 (11.9)	43.8 (0.3)	35.7 (3.9)
情報通信	60.7 (5.1)	56.7 (3.8)	53.6 (3.6)
染色	34.4 (4.4)	35.9 (10.2)	32.3 (2.9)
機械	59.1 (1.5)	62.5 (7.8)	53.0 (3.0)

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
金属	38.9 (22.6)	44.4 (13.3)	41.7 (16.0)
化学	33.3 (16.7)	43.3 (6.7)	40.0 (7.5)
卸売	33.3 (12.8)	34.7 (7.9)	34.4 (6.4)
サービス	42.5 (11.8)	39.7 (17.4)	40.2 (10.9)
印刷	35.7 (8.1)	37.5 (12.5)	28.6 (6.8)
その他の製造	45.9 (6.3)	45.9 (7.9)	39.7 (6.6)

注:カッコ内は前期との差(今期マイナス前期。 は上昇, は低下を示す。)

(2) 来期見通し 平成19年7月~9月期

来期(平成19年7月~9月期)の全業種の主要3指標見通しDIは,企業景気DIが43.7となり,今期と比較し2.0ポイント上昇となった。生産加工量・販売量DIは,43.2で同0.8ポイント上昇,経常利益DIは,39.9で同1.1ポイント上昇となった。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	43.7 (2.0)	43.2 (0.8)	39.9 (1.1)
(製造業)	44.6 (3.4)	43.8 (0.8)	39.5 (1.8)
(非製造業)	42.9 (0.6)	42.6 (0.8)	40.2 (0.4)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。 は上昇， は低下を示す。）

製造業では、「安価な商品との競争で、中高級品の受注が伸び悩む」（東山区／窯業）、「自社努力で売り上げを維持しているが、末端需要の停滞により減産予定」（上京区／西陣）など、販売単価の競争や先行きの不透明感により、窯業と西陣の来期見通しDIは低下している。反面、「原材料価格の上昇分を徐々に販売単価に転嫁できている」（中京区／化学）、「加工技術力の高さにより航空機業界からの受注増加」（上京区／金属）、「地道な営業活動が功を奏し、新規得意先が増加」（上京区／その他製造）のように、仕入原価上昇分の販売価格転嫁が進んだことや、技術力の向上や営業の強化により、景況感の改善を予測する企業があり、製造業全体の企業景気見通しDIは上昇している。

非製造業においては、「少子化の進行及び購入マインドの低下」（左京区／小売）、「市内でまとまった土地の仕入れが難しく住宅建築が低迷」（西京区／建設）など、小売と建設は今後の見通しに慎重となっている。一方、「自動車業界から工作機械の受注件数が増加傾向」（南区／卸売）と、自動車業界の好調を背景に卸売の来期見通しDIが上昇している。また、「顧客の嗜好に合わせた京料理PRにより予約が増加」（下京区／飲食・宿泊）、「他社にはない特色のある店舗開設で、安定した来店客が見込める」（伏見区／サービス）のように、顧客ニーズの追求や独自の店舗構成により、飲食・宿泊とサービスも景況感の改善を予測しており、非製造業全体の企業景気見通しDIをやや押し上げている。

国内経済では、依然として自動車や半導体関連産業が好調であり、大手上場企業の業績は、比較的堅調な推移をしている。しかし、中小零細企業は、人材、資金力や技術力の面で大手上場企業との差が広がっており、全国の企業倒産件数も、8箇月連続で前年同月比増加と高水準にあるなど、中小零細企業の経営は、厳しい状況が続いている。

市内中小企業においても、自動車業界に関連する企業の業況改善の声が聞かれる。また、技術力の向上や市場ニーズを先取りした営業努力により、景況感改善の声も聞かれるものの、原油、銅、アルミといった原材料価格が上昇傾向にある中、業者間で販売価格を中心とした競争はさらに厳しくなってきている。一般個人消費も本格的に回復しているとはいええないため、業種間での景況感格差は続くものとみられ、一概に景気回復基調にあるとは言えない。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は、4業種、いずれも低下と予測している業種は、2業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
化学	53.3 (20.0)	60.0 (16.7)	43.3 (3.3)
その他の製造	52.8 (6.9)	50.0 (4.1)	41.7 (2.0)
サービス	47.2 (4.7)	48.5 (8.8)	47.9 (7.7)
印刷	37.5 (1.8)	39.3 (1.8)	41.1 (12.5)

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
窯業	25.0 (8.3)	27.5 (7.5)	30.0 (5.7)
小売	40.9 (2.6)	41.3 (3.4)	39.8 (5.1)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。 は上昇， は低下を示す。）

・主要3指標DI 業種別推移(前期/今期/来期見通し)

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	45.1	41.7	43.7	45.2	42.4	43.2	40.6	38.8	39.9
製造業	44.0	41.2	44.6	43.9	43.0	43.8	39.2	37.7	39.5
非製造業	46.1	42.3	42.9	46.5	41.8	42.6	41.9	39.8	40.2

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	44.0	41.2	44.6	43.9	43.0	43.8	39.2	37.7	39.5
西陣	20.7	32.8	29.6	19.0	31.7	27.8	15.5	27.6	27.8
染色	30.0	34.4	38.7	25.7	35.9	35.5	29.4	32.3	36.2
印刷	43.8	35.7	37.5	50.0	37.5	39.3	35.4	28.6	41.1
窯業	35.7	33.3	25.0	40.0	35.0	27.5	32.5	35.7	30.0
化学	50.0	33.3	53.3	50.0	43.3	60.0	47.5	40.0	43.3
金属	61.5	38.9	43.8	57.7	44.4	41.2	57.7	41.7	34.4
機械	57.6	59.1	59.4	54.7	62.5	60.0	50.0	53.0	53.1
その他の製造	52.2	45.9	52.8	53.8	45.9	50.0	46.3	39.7	41.7
非製造業	46.1	42.3	42.9	46.5	41.8	42.6	41.9	39.8	40.2
卸売	46.1	33.3	34.1	42.6	34.7	36.1	40.8	34.4	34.4
小売	45.2	43.5	40.9	46.6	44.7	41.3	40.3	44.9	39.8
情報通信	55.6	60.7	60.7	52.9	56.7	60.0	50.0	53.6	60.7
飲食, 宿泊	41.1	41.7	44.6	40.0	42.3	42.3	40.4	38.9	38.5
サービス	54.3	42.5	47.2	57.1	39.7	48.5	51.1	40.2	47.9
建設	35.7	47.6	46.4	43.5	43.8	43.8	31.8	35.7	34.5

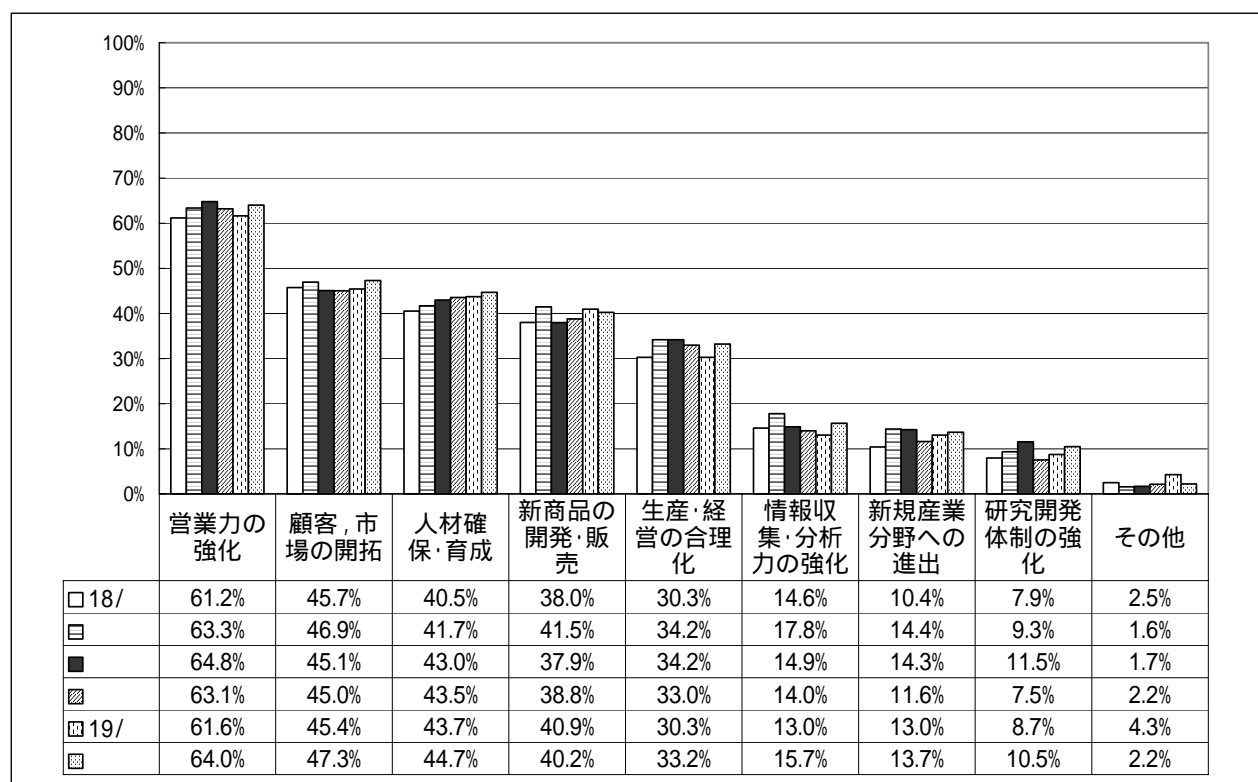
2. 当面の経営戦略について

「営業力の強化」を挙げる企業が64.0%でトップ。「人材確保・育成」の伸びが続く。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の64.0%を占め、最も多くなっている。「顧客、市場の開拓」が47.3%で続き、以下、「人材確保・育成」44.7%、「新商品の開発・販売」40.2%の順となっている。

「新商品の開発・販売」で前期と比較し0.7ポイント減、「その他」で同2.1ポイント減となった以外は、全体的に増加した結果となった。

各項目の順位はほぼ固定されており、「人材確保・育成」が右肩上がりに伸びている。



この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

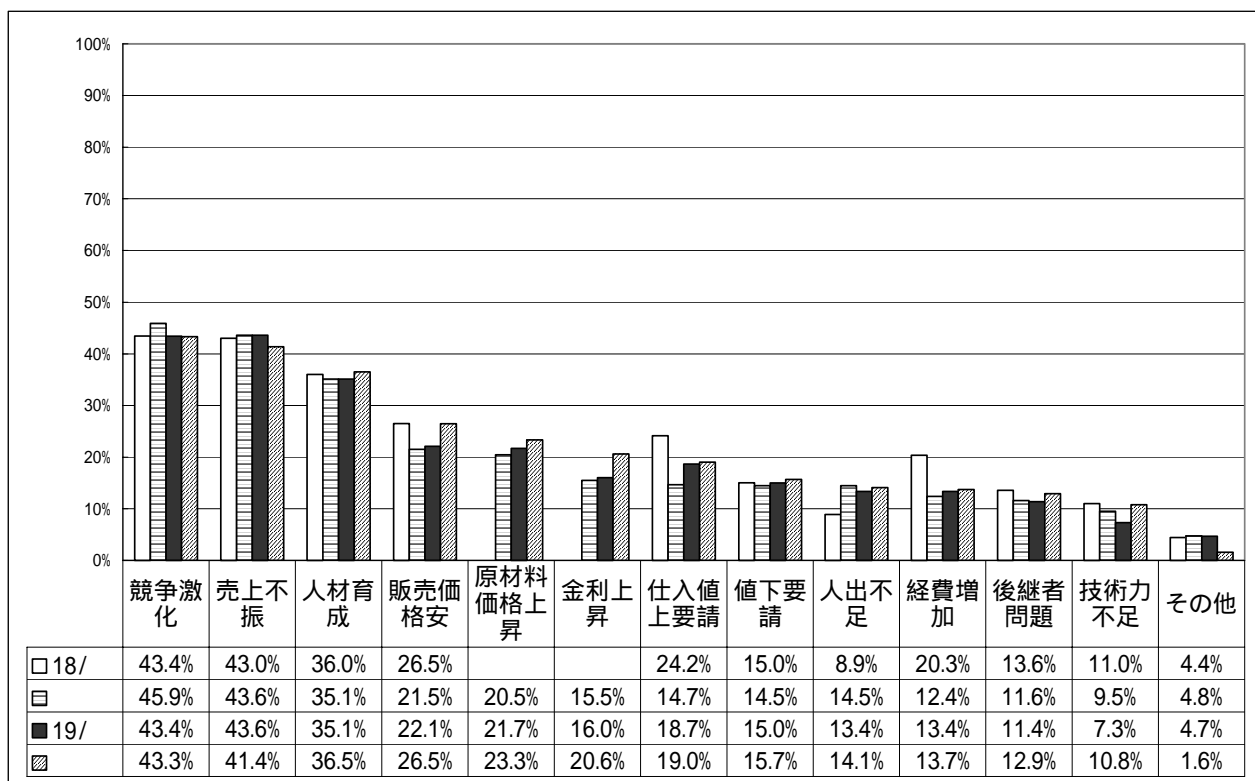
3. 経営上の不安要素について 第80回調査から実施

「競争激化」が43.3%でトップ。製造業では西陣で「売上不振」が82.1%に。

経営上の不安要素としては、「競争激化」を挙げる企業が全体の43.3%を占め、最も多くなっている。「売上不振」が41.4%で続き、以下「人材育成」36.5%、「販売価格安」26.5%、「原材料価格上昇」23.3%の順となっている。

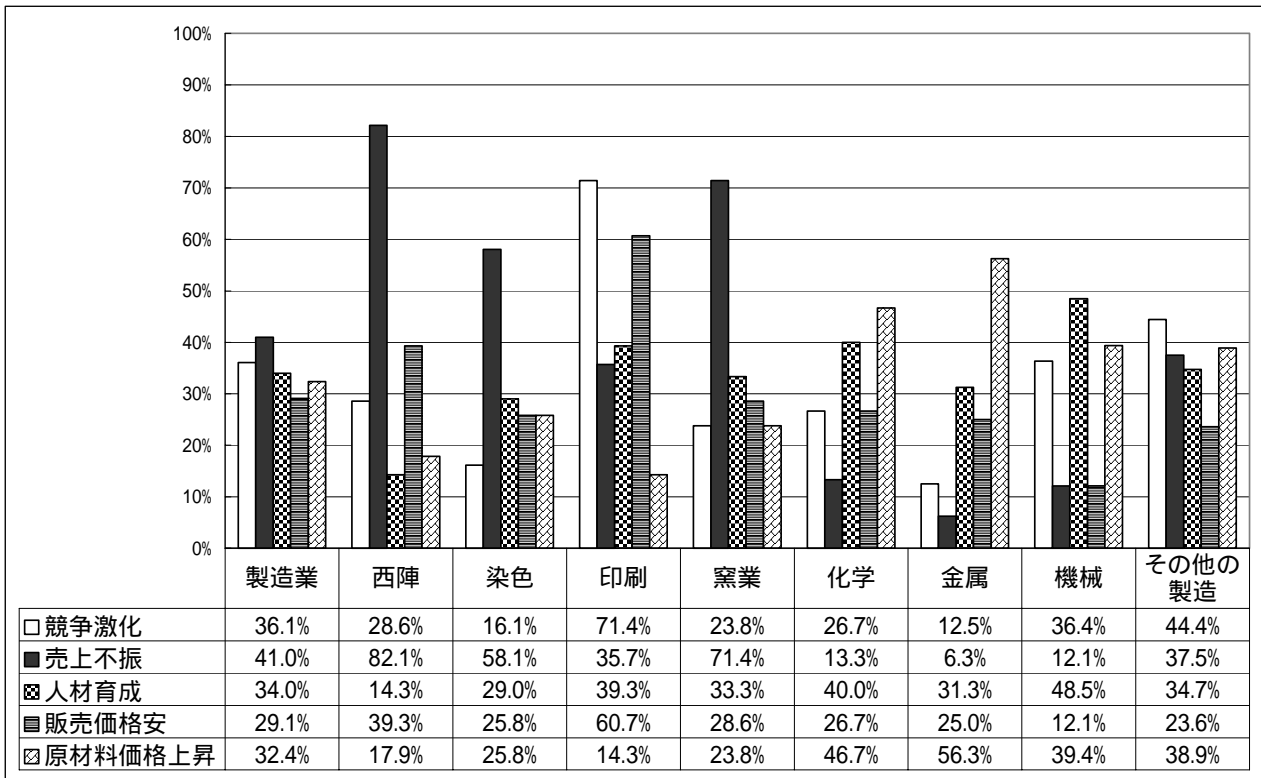
製造業では、西陣、染色、窯業で「売上不振」の割合が高く、50%を超えている。特に西陣では、企業景気DIで今回12.1ポイント上昇したにもかかわらず、不安感は払拭されていないようで、82.1%と全業種で最も高くなった。金属では「原材料価格上昇」の割合が、前回の76.9%より緩和され56.3%になったが、全業種の中で最も高いままである。また、印刷では「競争激化」で71.4%、「販売価格安」で60.7%となり、引き続き外部環境の厳しさがみられる。

非製造業では、建設で「競争激化」が67.4%と高くなっており、情報通信では引き続き「人材育成」が73.3%で最も高くなっている。

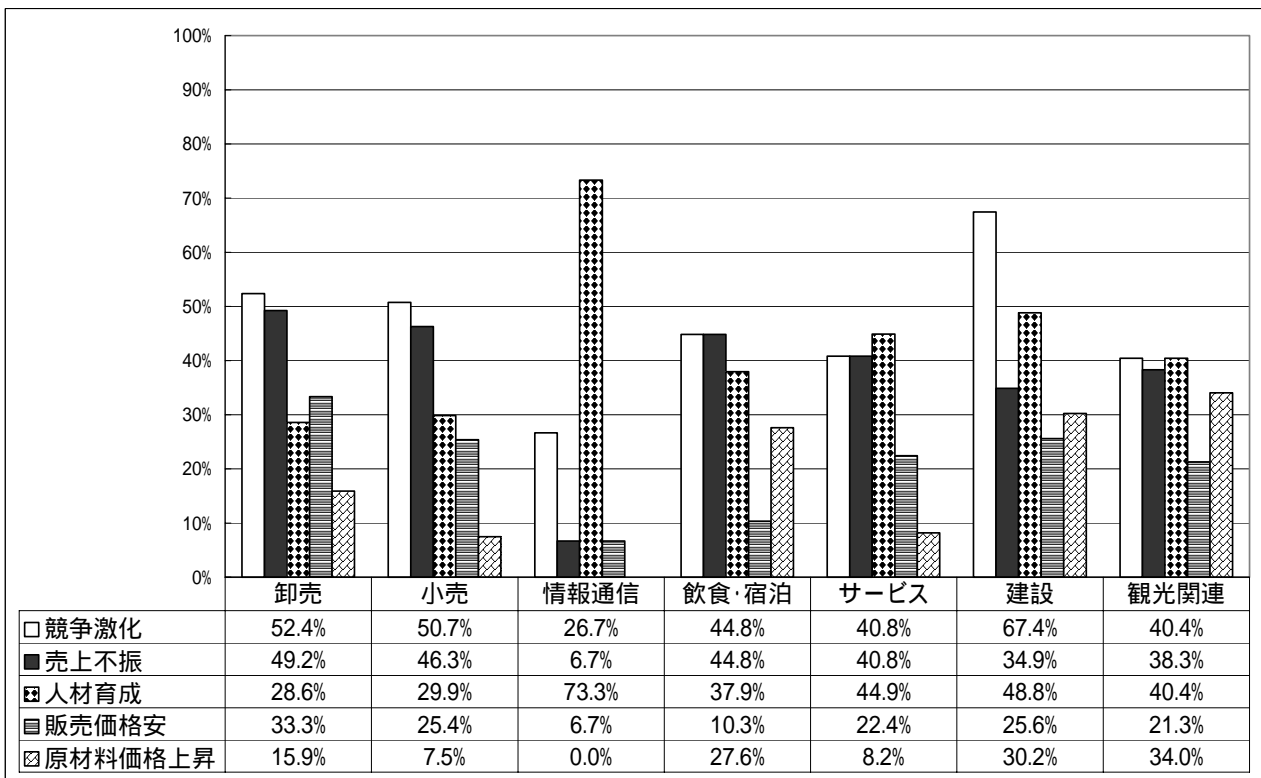


この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答



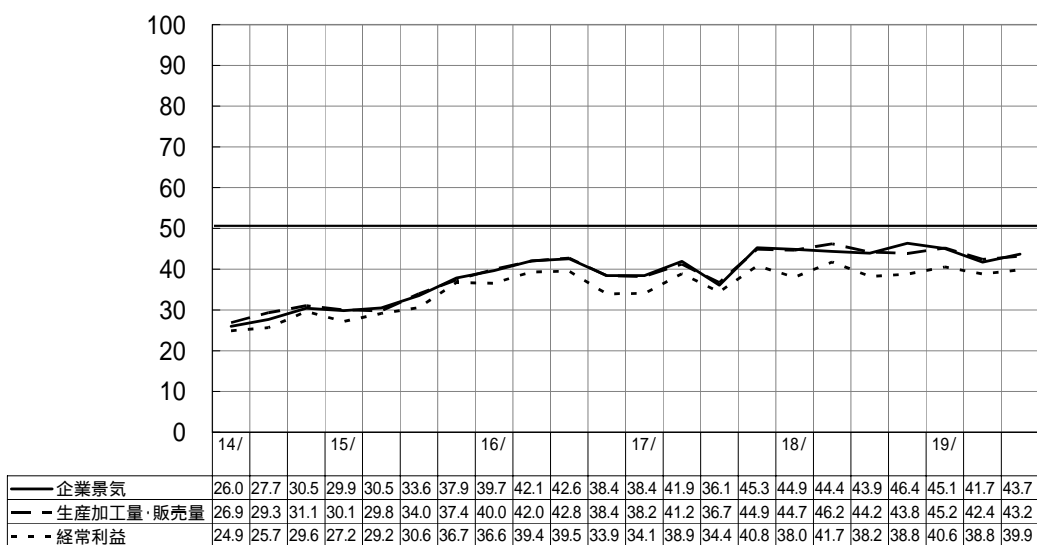
・経営上の不安要素・非製造業主要回答



参考 1 : 業種別主要 3 指標 DI 推移

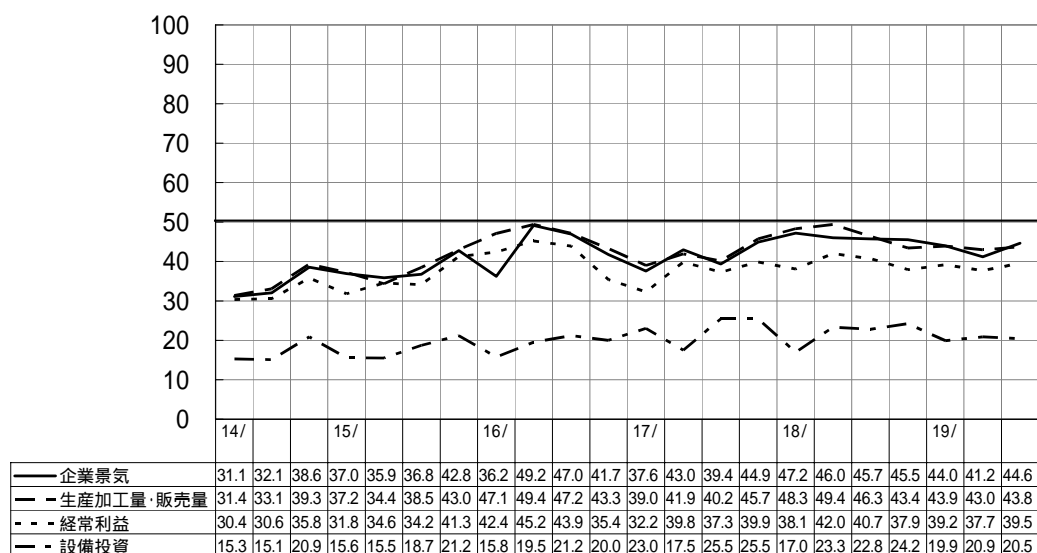
製造業は、設備投資 DI を含む。

全業種



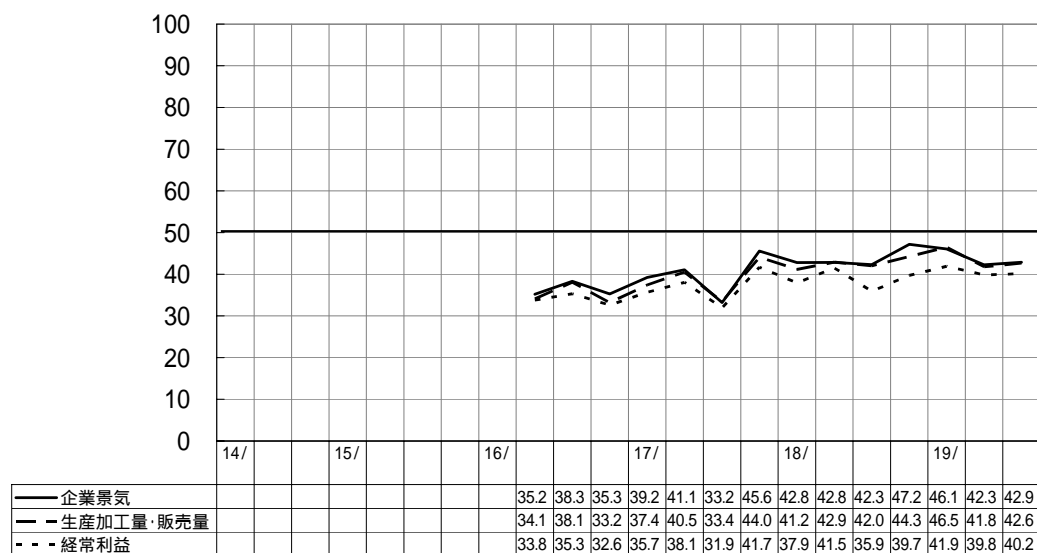
(見通し)

製造業



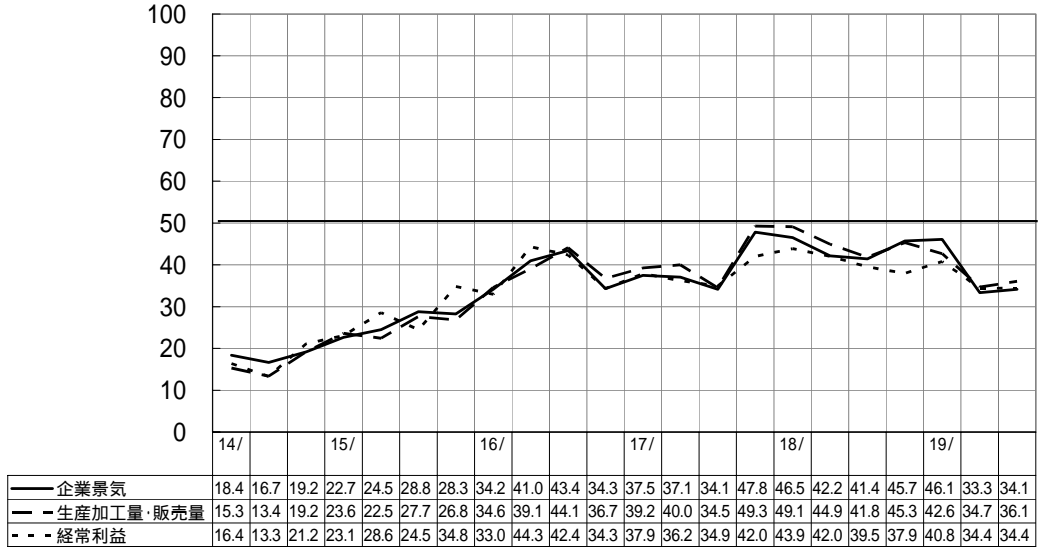
(見通し)

非製造業 平成16年4～6月期から集計開始



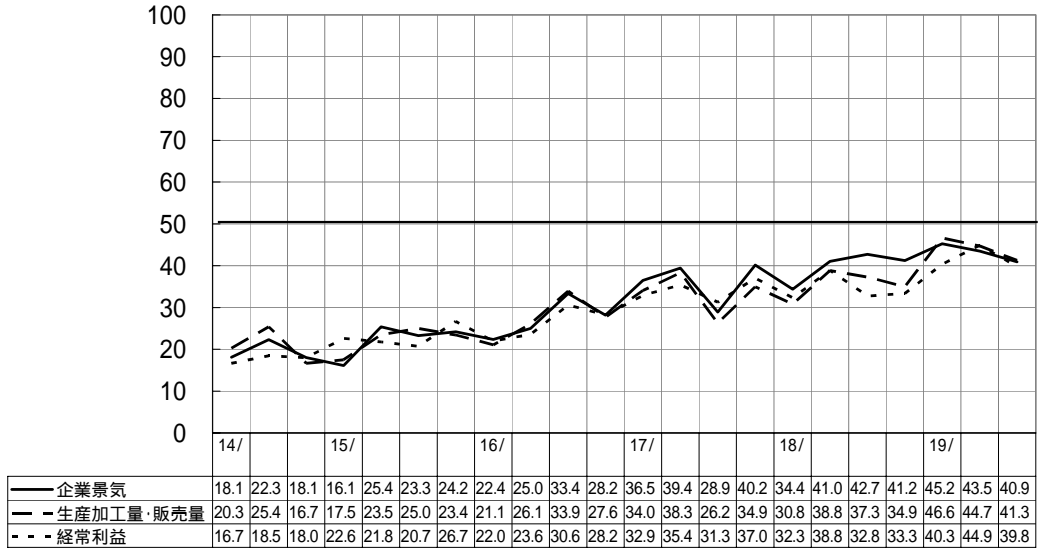
(見通し)

卸売



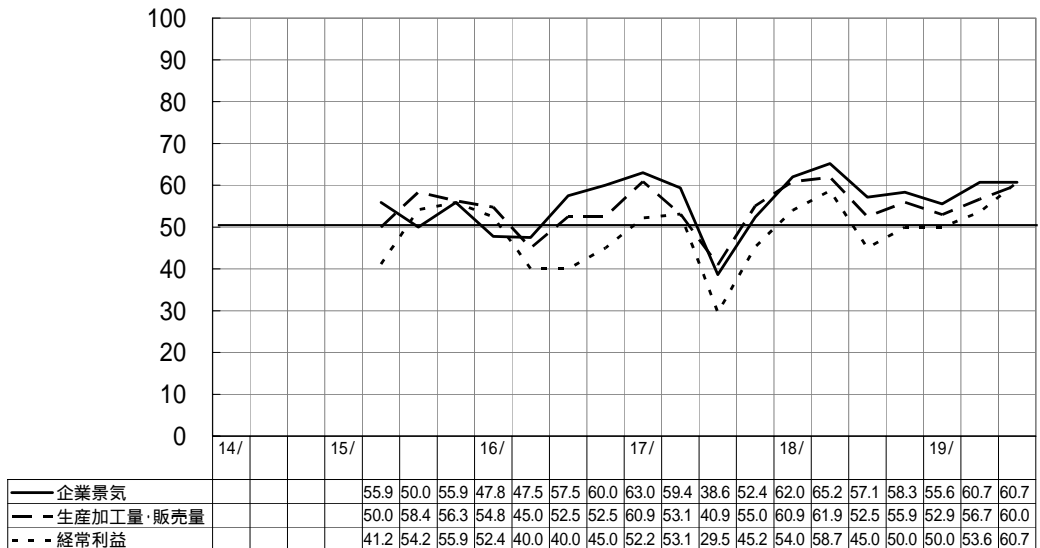
(見通し)

小売



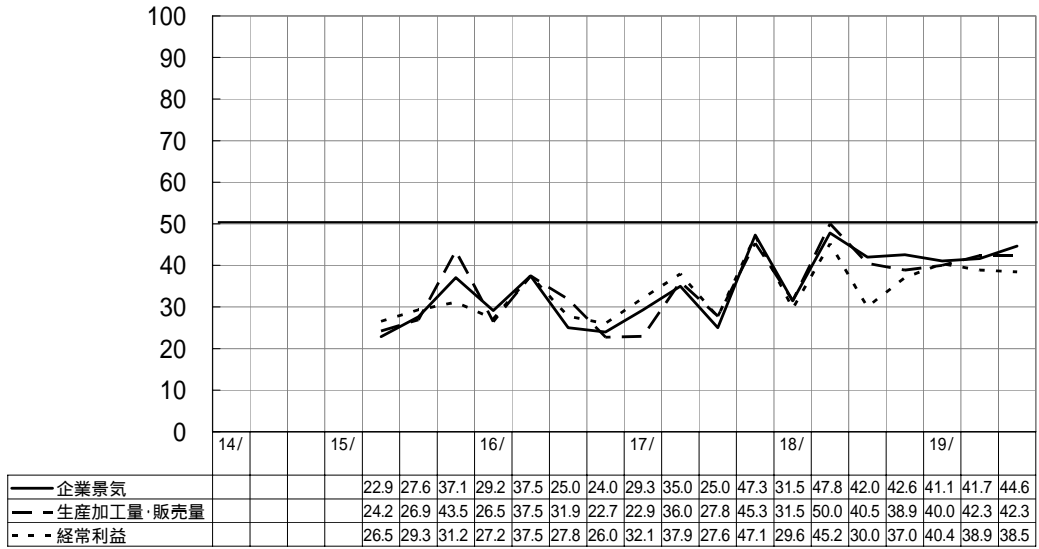
(見通し)

情報通信 平成15年4～6月期から集計開始



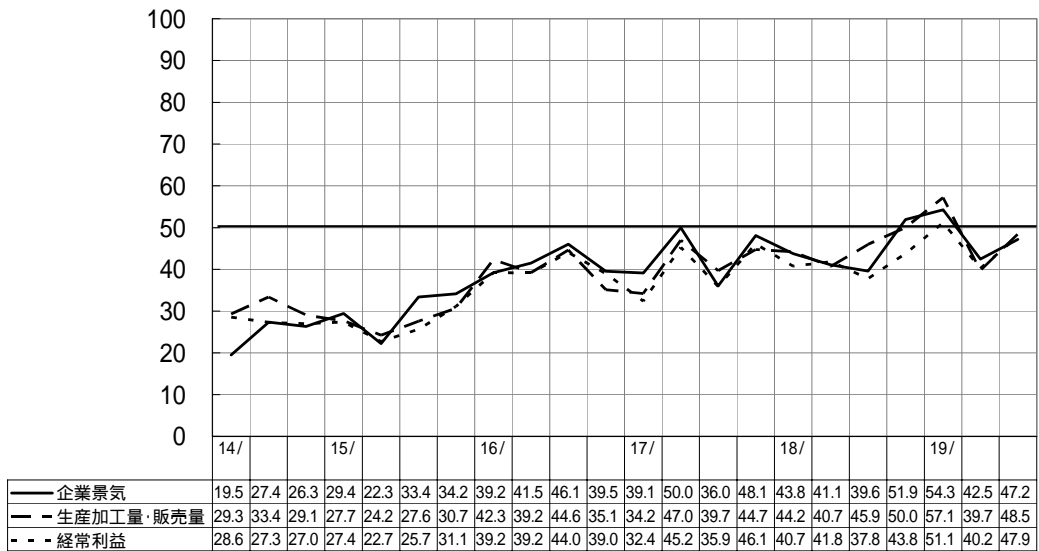
(見通し)

飲食・宿泊 平成15年4～6月期から集計開始



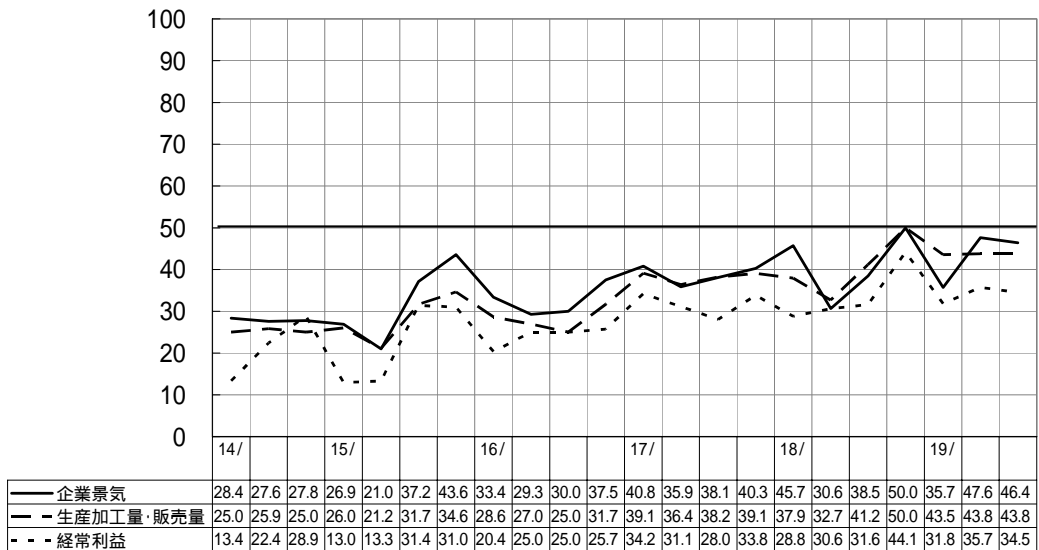
(見通し)

サービス



(見通し)

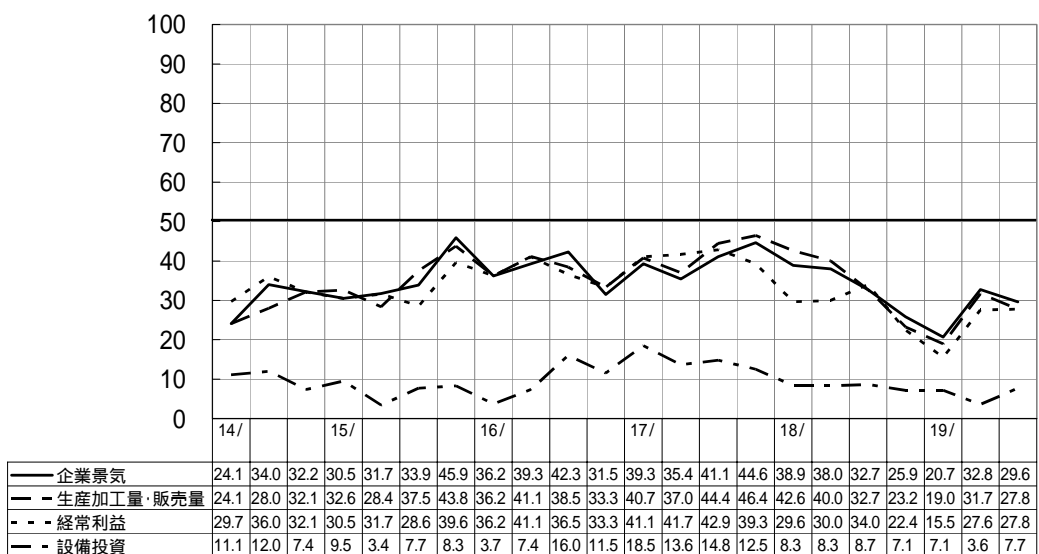
建設



(見通し)

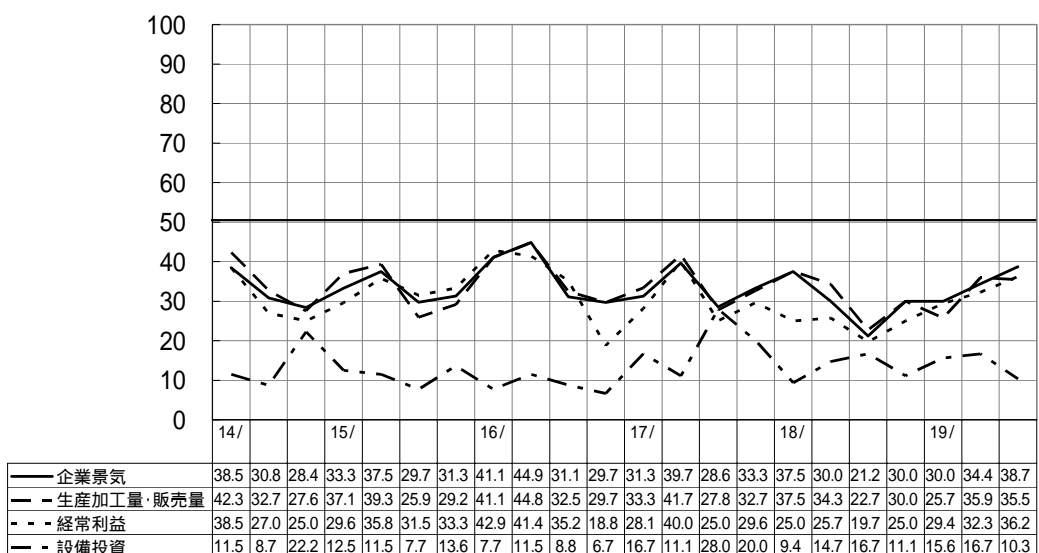
参考 2 : 製造業の主要 3 指標 DI ・ 設備投資 DI 推移

西陣



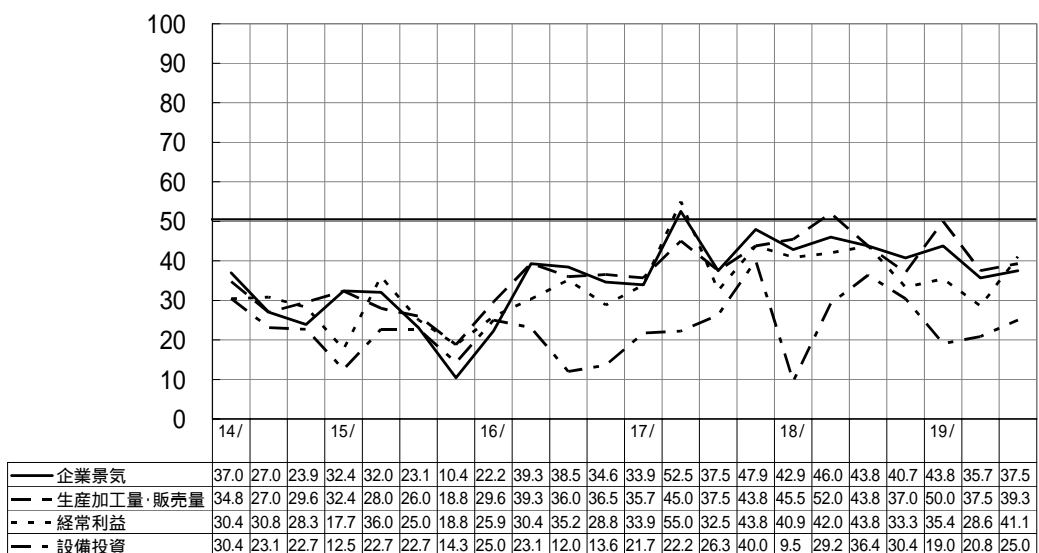
(見通し)

染色



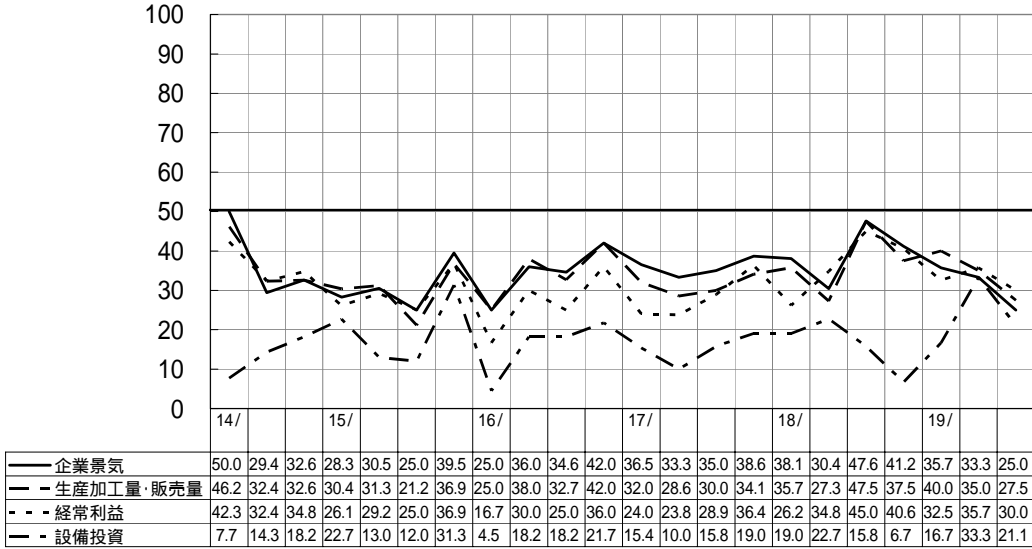
(見通し)

印刷



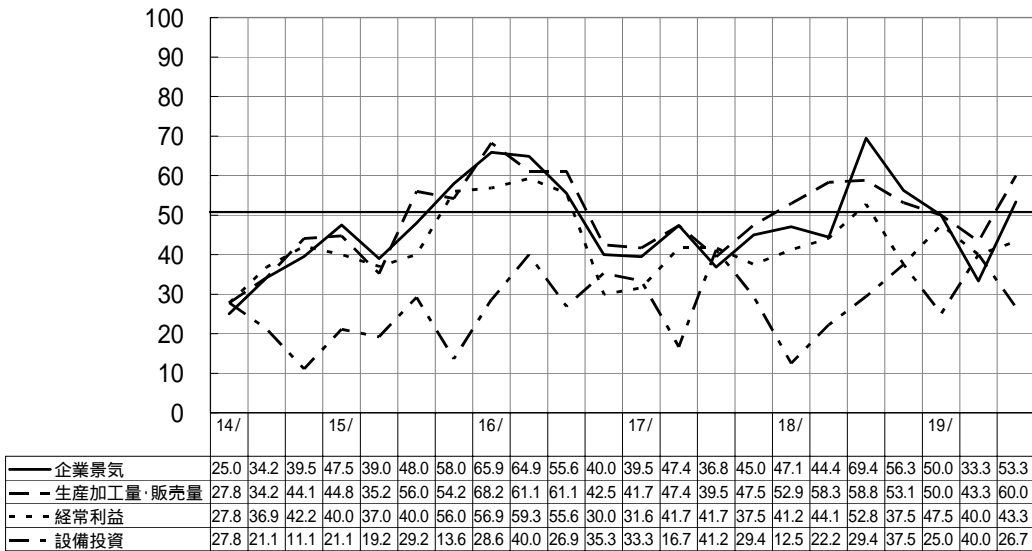
(見通し)

窯業



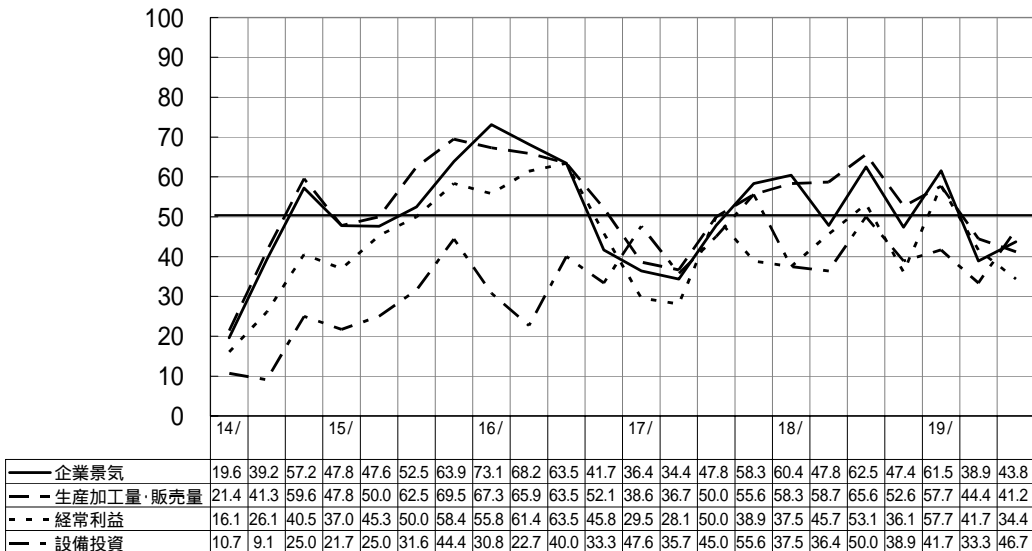
(見通し)

化学



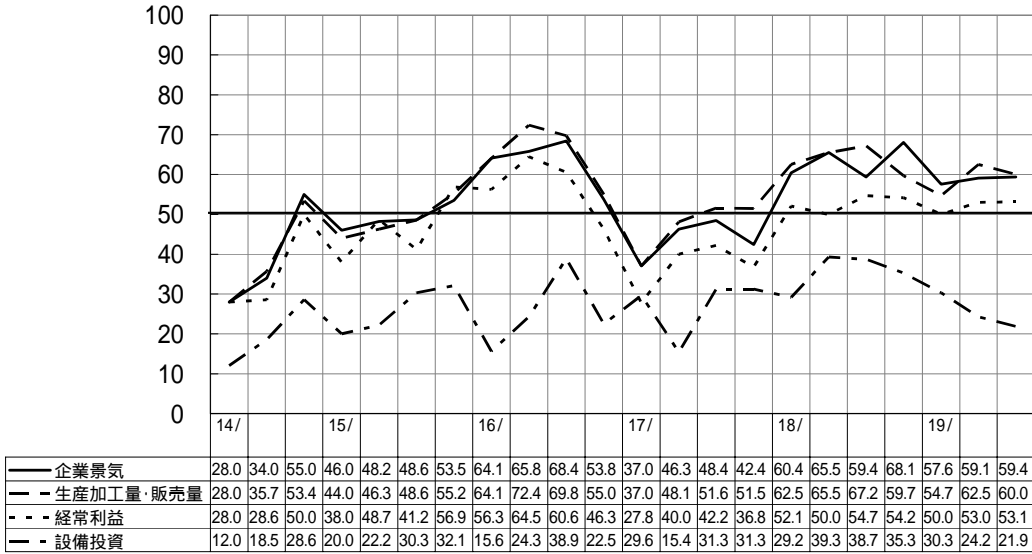
(見通し)

金属



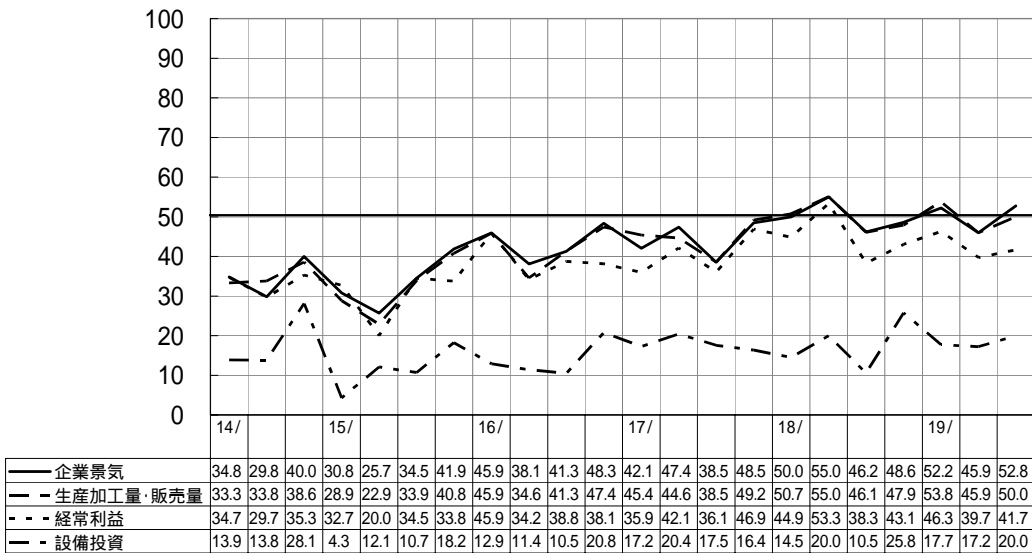
(見通し)

機械



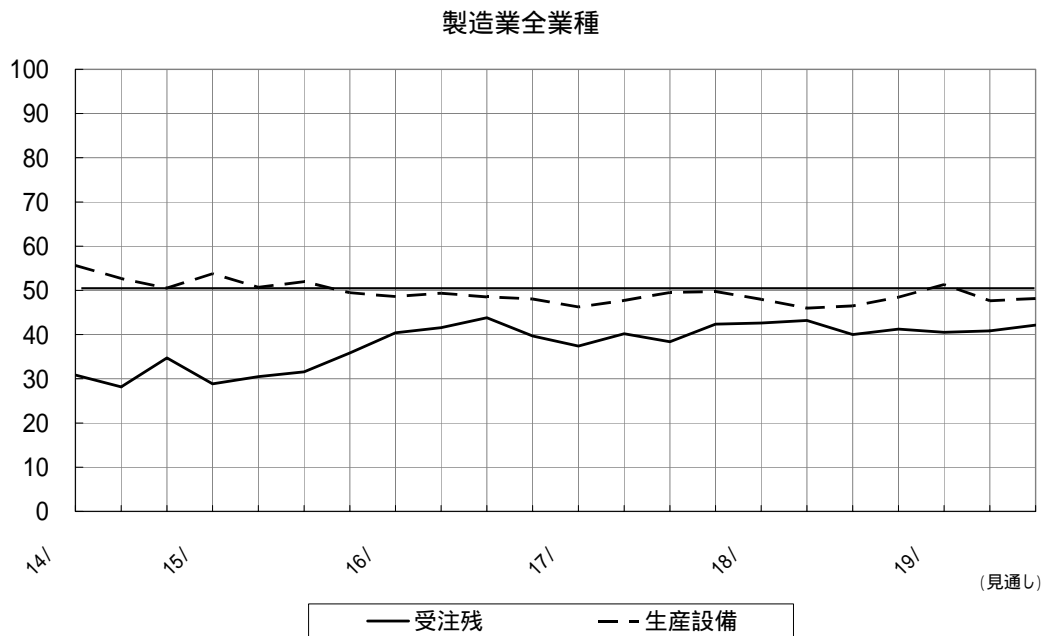
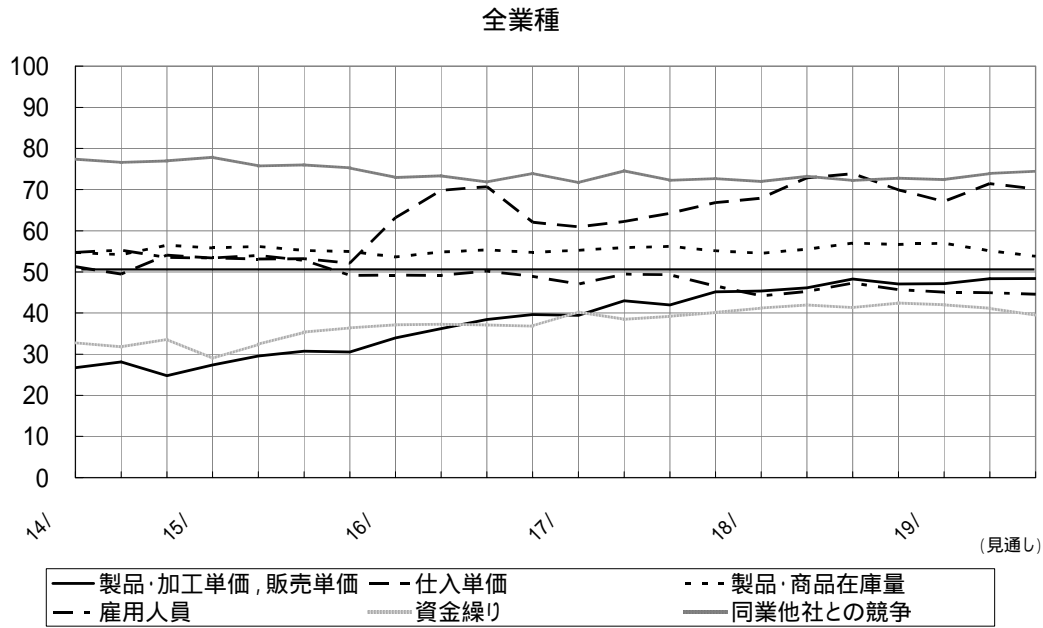
(見通し)

その他の製造

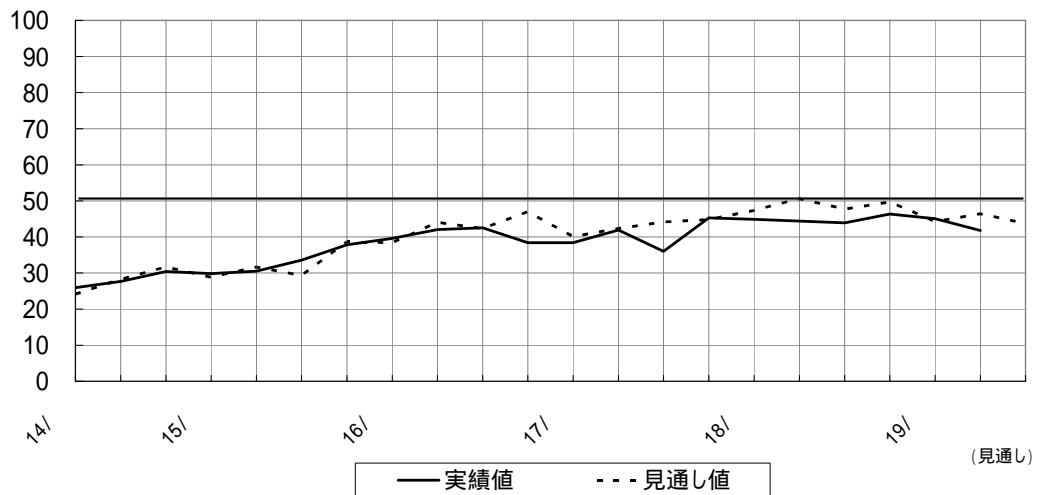


(見通し)

参考3：業種別その他 DI の推移



参考4：企業景気 DI の予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	17
企業景気.....	17
生産加工量・販売量.....	19
経常利益.....	21
製品・加工単価，販売単価.....	23
仕入単価.....	25
製品・商品在庫量.....	27
雇用人員.....	29
資金繰り.....	31
同業他社との競争.....	33
受注残.....	35
生産設備.....	36
設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について.....	38
(3) 経営上の不安要素について.....	40
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	42

注記：各項の表について

- ・ 「**△**」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して，DI が低下していることを示す。
- ・ 「**観光関連**」とは，観光関係の売上げが 25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移(全体)

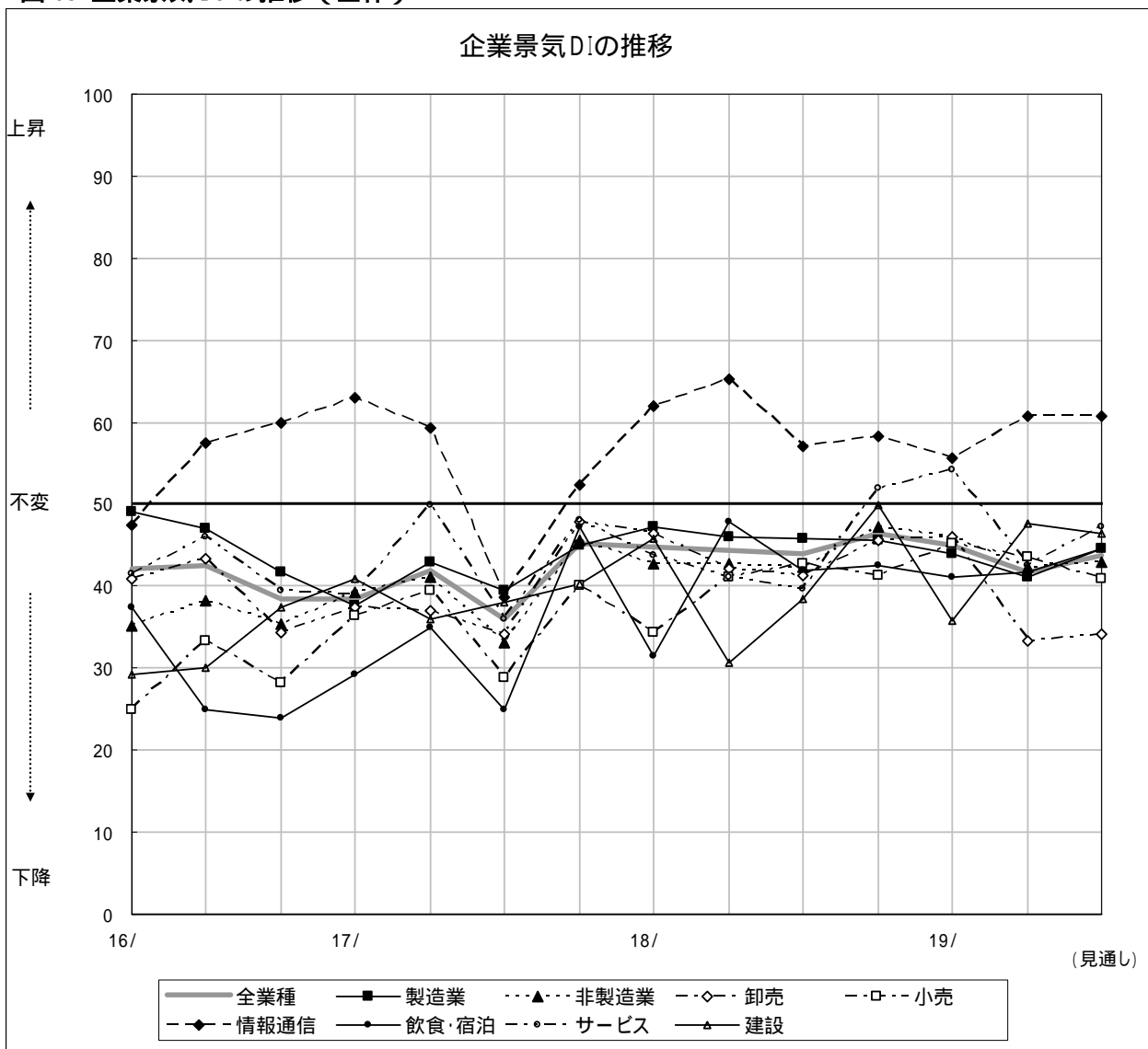


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

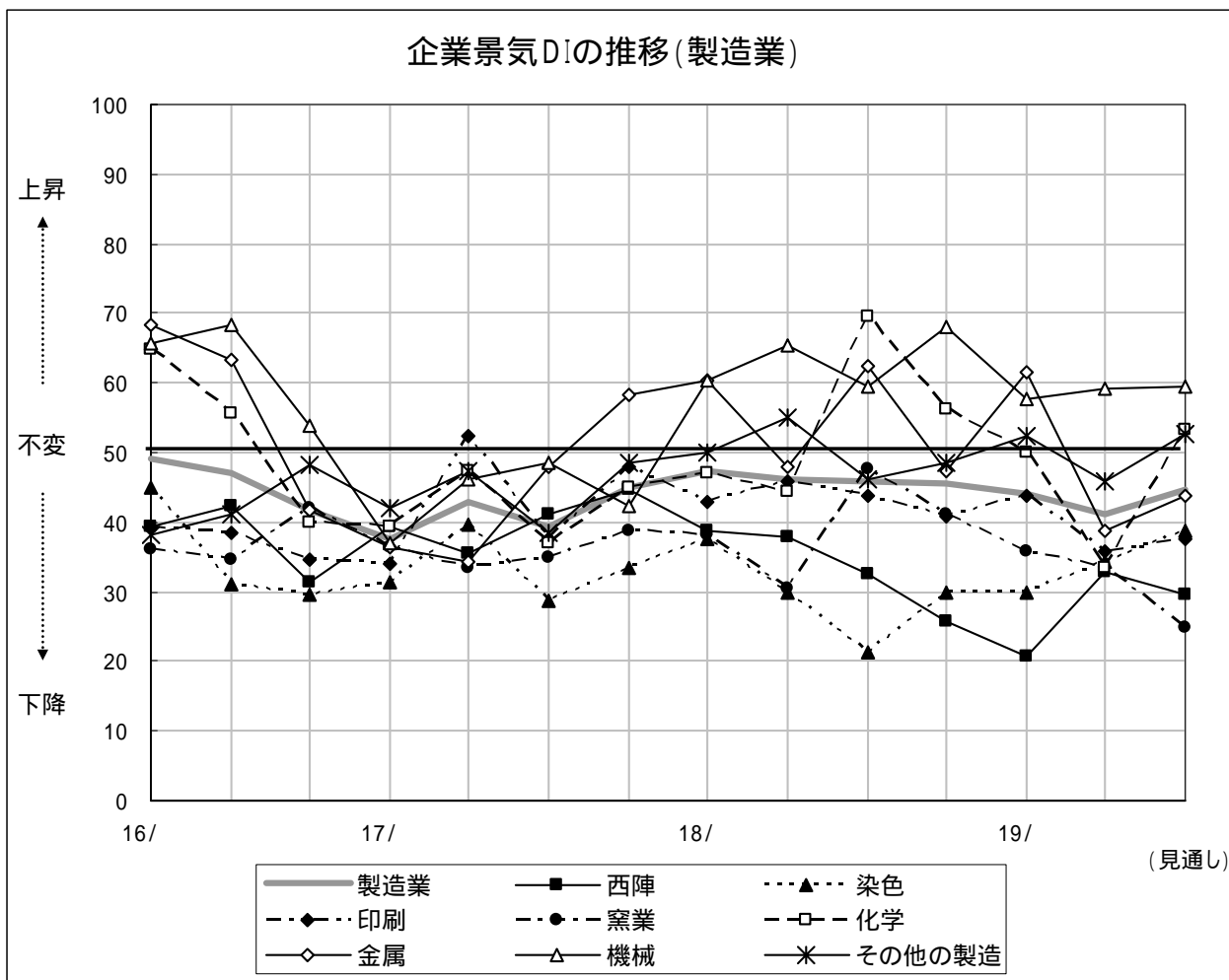


表1. 企業景気DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	45.1	41.7	3.4	43.7	2.0
製造業	44.0	41.2	2.8	44.6	3.4
西陣	20.7	32.8	12.1	29.6	3.2
染色	30.0	34.4	4.4	38.7	4.3
印刷	43.8	35.7	8.1	37.5	1.8
窯業	35.7	33.3	2.4	25.0	8.3
化学	50.0	33.3	16.7	53.3	20.0
金属	61.5	38.9	22.6	43.8	4.9
機械	57.6	59.1	1.5	59.4	0.3
その他の製造	52.2	45.9	6.3	52.8	6.9
非製造業	46.1	42.3	3.8	42.9	0.6
卸売	46.1	33.3	12.8	34.1	0.8
小売	45.2	43.5	1.7	40.9	2.6
情報通信	55.6	60.7	5.1	60.7	0.0
飲食・宿泊	41.1	41.7	0.6	44.6	2.9
サービス	54.3	42.5	11.8	47.2	4.7
建設	35.7	47.6	11.9	46.4	1.2
観光関連	57.4	44.4	13.0	46.2	1.8

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移(全体)

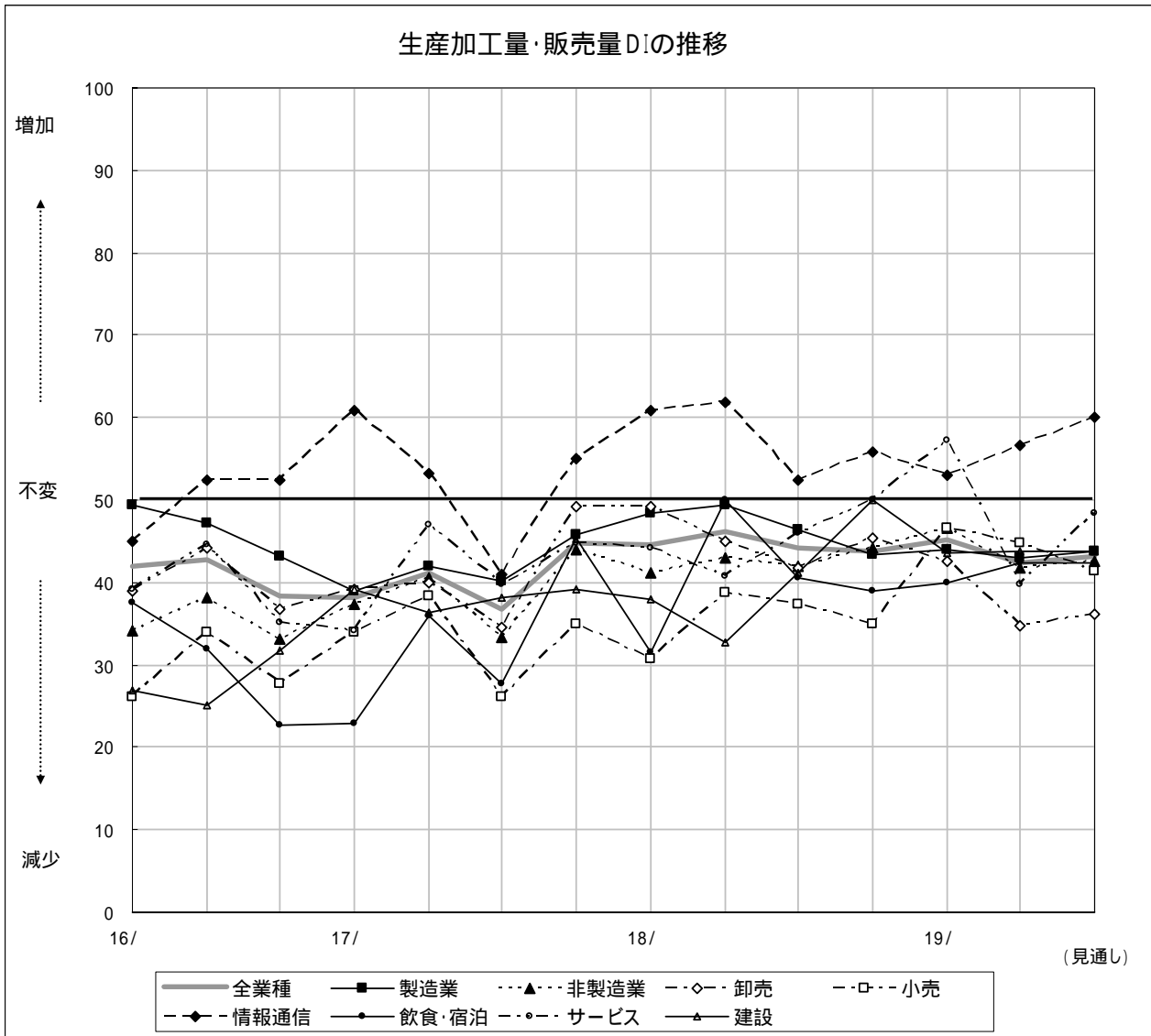


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

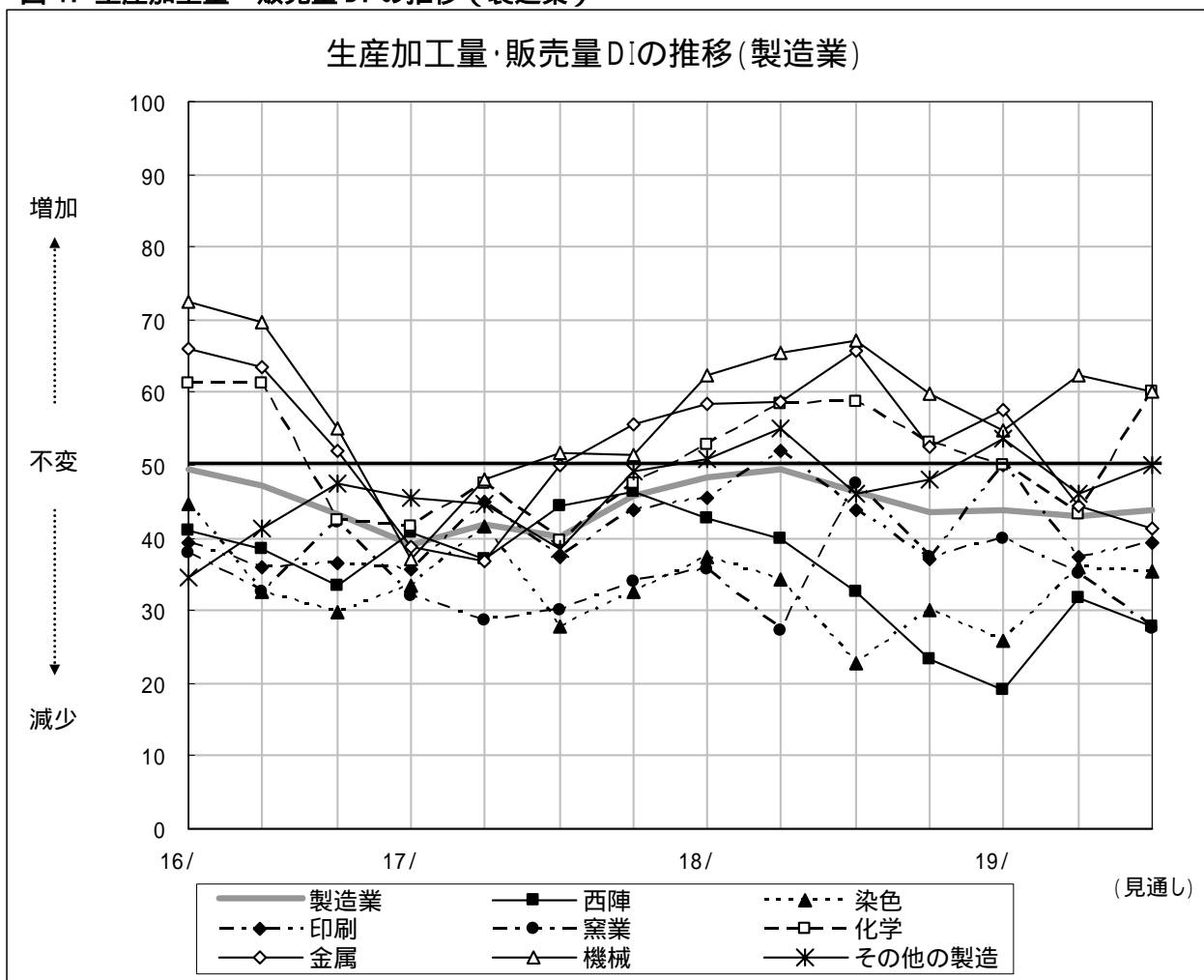


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	45.2	42.4	2.8	43.2	0.8
製造業	43.9	43.0	0.9	43.8	0.8
西陣	19.0	31.7	12.7	27.8	3.9
染色	25.7	35.9	10.2	35.5	0.4
印刷	50.0	37.5	12.5	39.3	1.8
窯業	40.0	35.0	5.0	27.5	7.5
化学	50.0	43.3	6.7	60.0	16.7
金属	57.7	44.4	13.3	41.2	3.2
機械	54.7	62.5	7.8	60.0	2.5
その他の製造	53.8	45.9	7.9	50.0	4.1
非製造業	46.5	41.8	4.7	42.6	0.8
卸売	42.6	34.7	7.9	36.1	1.4
小売	46.6	44.7	1.9	41.3	3.4
情報通信	52.9	56.7	3.8	60.0	3.3
飲食・宿泊	40.0	42.3	2.3	42.3	0.0
サービス	57.1	39.7	17.4	48.5	8.8
建設	43.5	43.8	0.3	43.8	0.0
観光関連	63.5	43.8	19.7	45.8	2.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

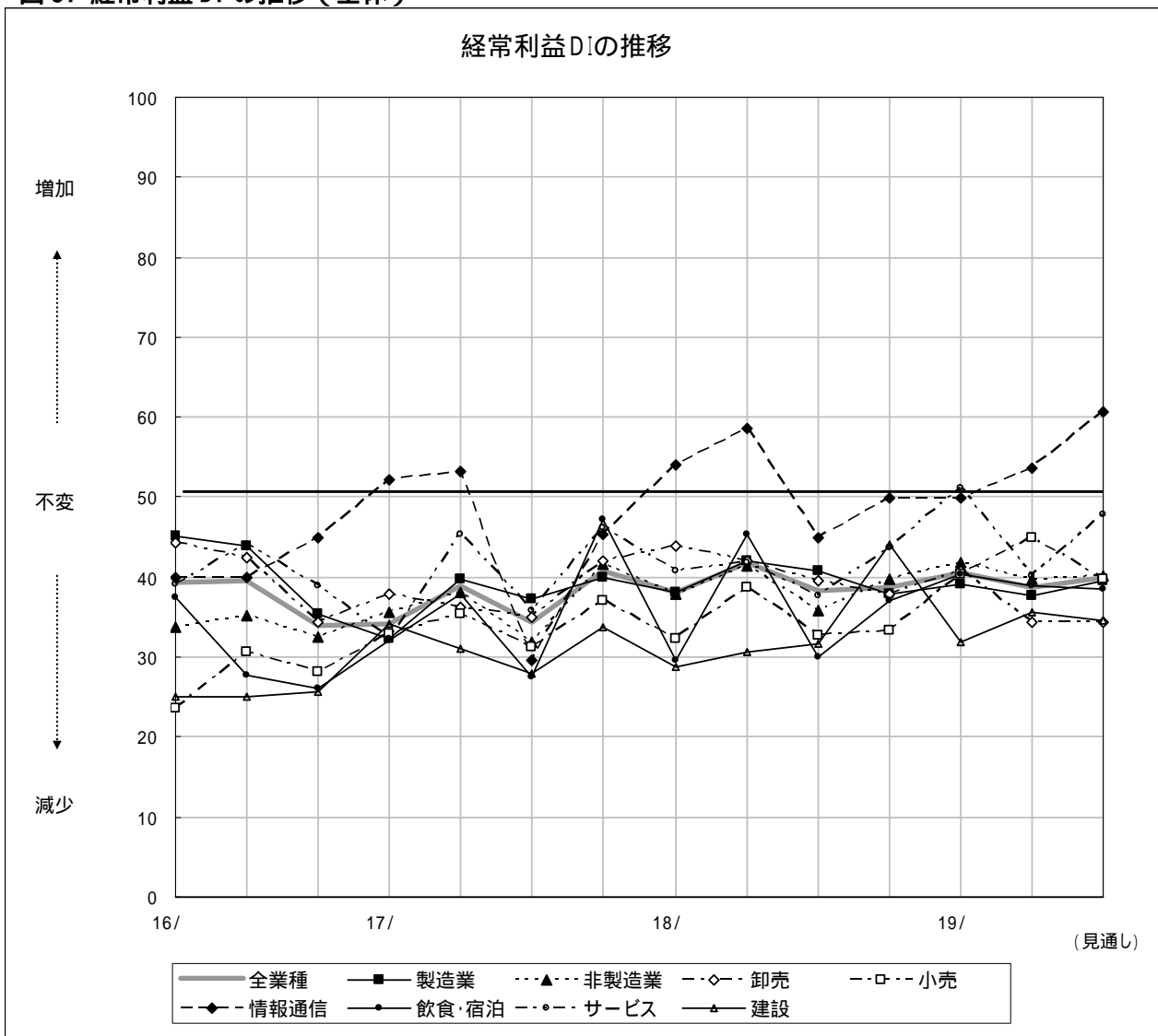


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

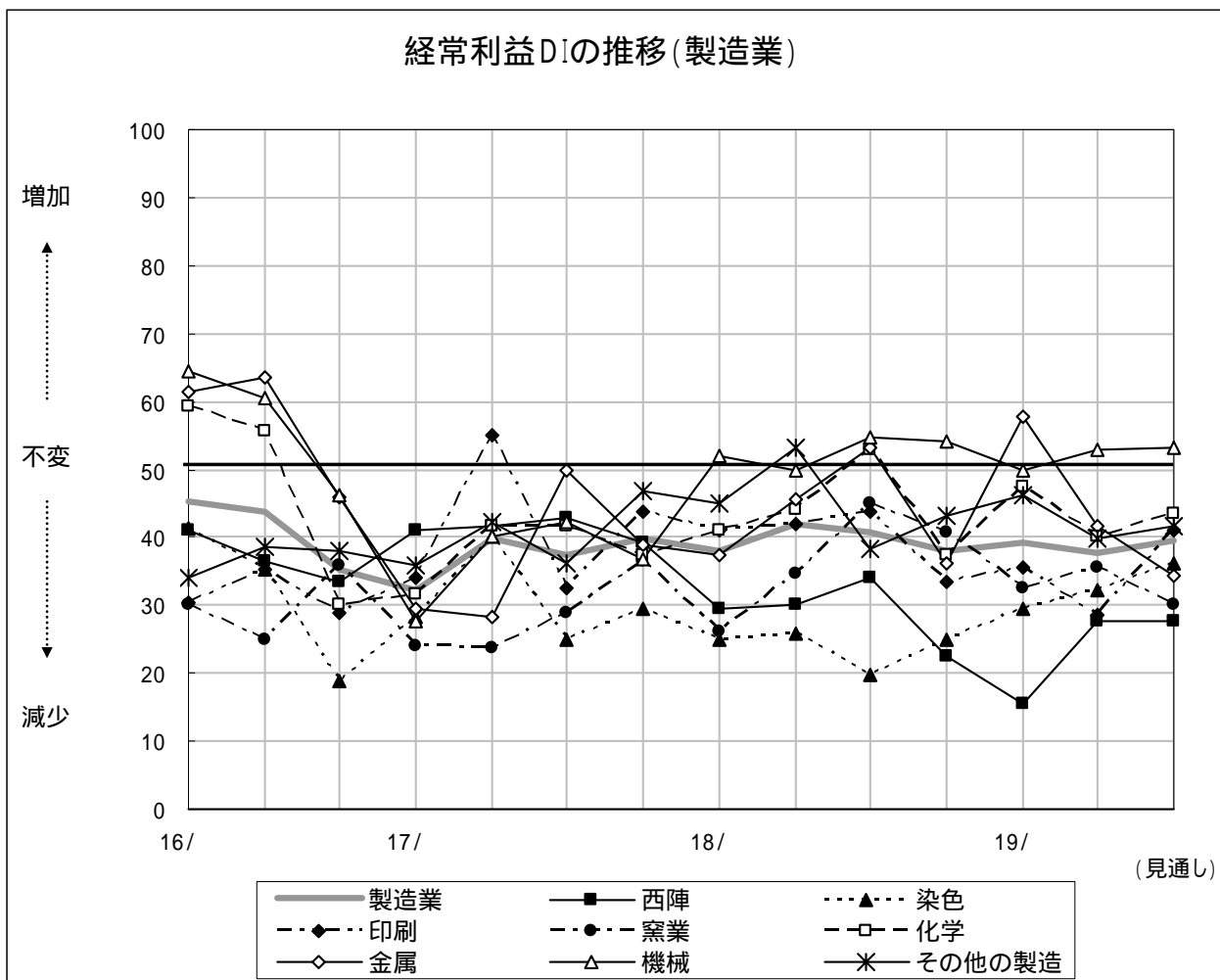


表3. 経常利益DI 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	40.6	38.8	1.8	39.9	1.1
製造業	39.2	37.7	1.5	39.5	1.8
西陣	15.5	27.6	12.1	27.8	0.2
染色	29.4	32.3	2.9	36.2	3.9
印刷	35.4	28.6	6.8	41.1	12.5
窯業	32.5	35.7	3.2	30.0	5.7
化学	47.5	40.0	7.5	43.3	3.3
金属	57.7	41.7	16.0	34.4	7.3
機械	50.0	53.0	3.0	53.1	0.1
その他の製造	46.3	39.7	6.6	41.7	2.0
非製造業	41.9	39.8	2.1	40.2	0.4
卸売	40.8	34.4	6.4	34.4	0.0
小売	40.3	44.9	4.6	39.8	5.1
情報通信	50.0	53.6	3.6	60.7	7.1
飲食・宿泊	40.4	38.9	1.5	38.5	0.4
サービス	51.1	40.2	10.9	47.9	7.7
建設	31.8	35.7	3.9	34.5	1.2
観光関連	53.7	40.0	13.7	43.8	3.8

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価，販売単価

図7. 製品・加工単価，販売単価DIの推移（全体）

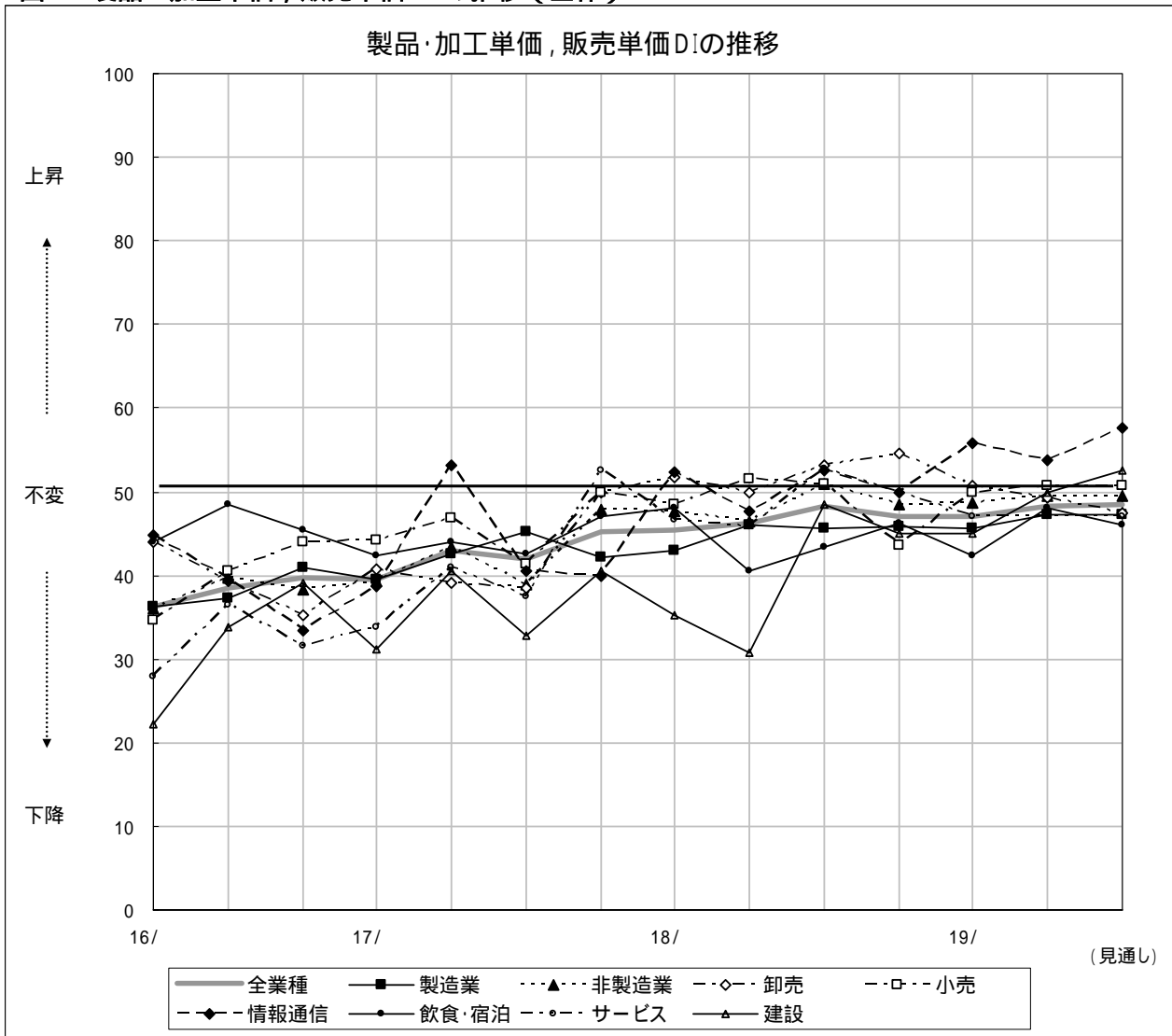


図 8. 製品・加工単価，販売単価 DI の推移（製造業）

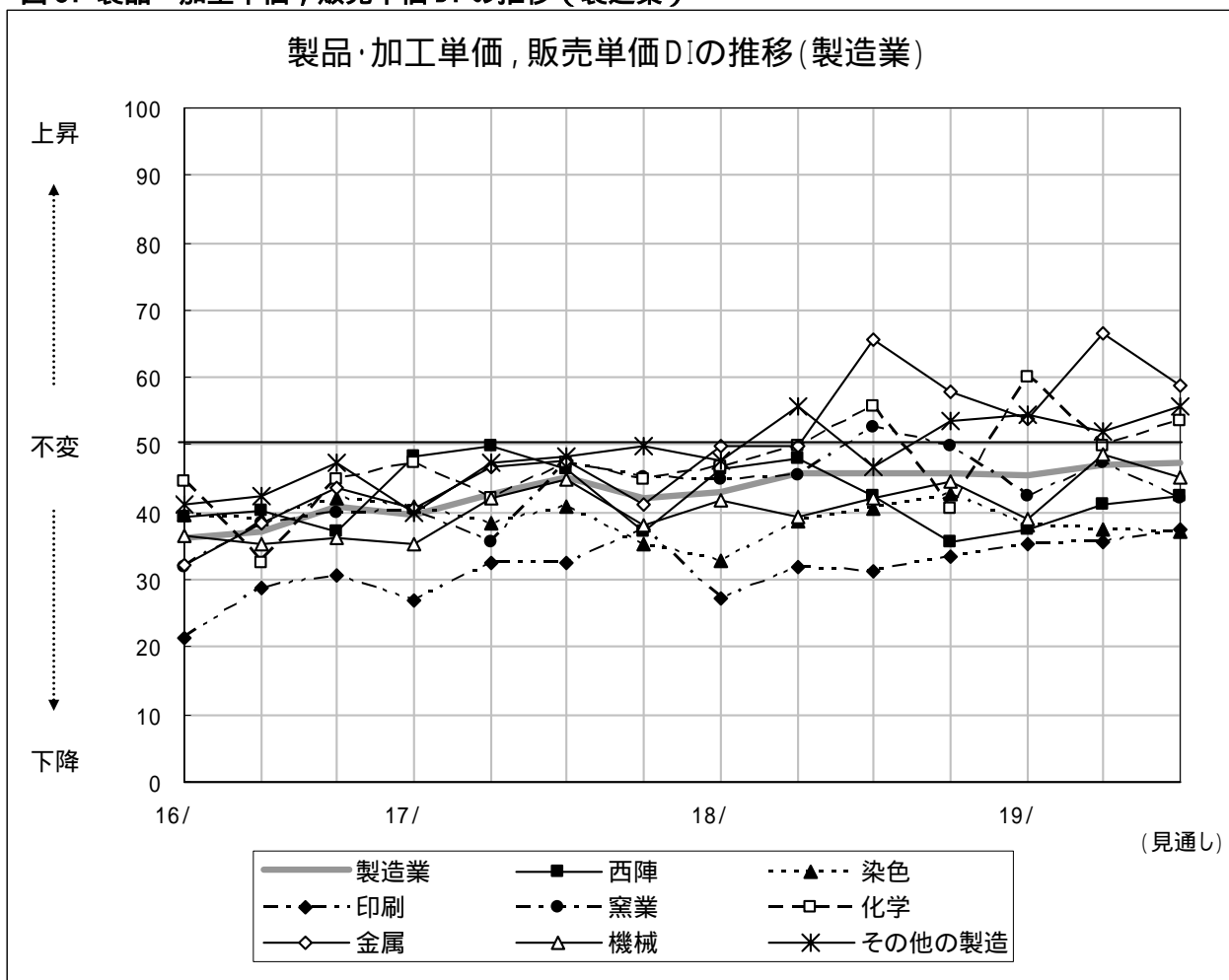


表 4. 製品・加工単価，販売単価 DI 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	47.1	48.4	1.3	48.4	0.0
製造業	45.6	47.2	1.6	47.3	0.1
西陣	37.5	41.1	3.6	42.3	1.2
染色	38.2	37.5	0.7	37.1	0.4
印刷	35.4	35.7	0.3	37.5	1.8
窯業	42.5	47.5	5.0	42.1	5.4
化学	60.0	50.0	10.0	53.6	3.6
金属	53.8	66.7	12.9	58.8	7.9
機械	39.1	48.5	9.4	45.3	3.2
その他の製造	54.5	52.1	2.4	55.6	3.5
非製造業	48.7	49.6	0.9	49.6	0.0
卸売	50.8	49.2	1.6	47.5	1.7
小売	50.0	50.7	0.7	50.8	0.1
情報通信	55.9	53.8	2.1	57.7	3.9
飲食・宿泊	42.3	48.1	5.8	46.0	2.1
サービス	47.0	47.0	0.0	47.1	0.1
建設	45.0	50.0	5.0	52.6	2.6
観光関連	56.0	52.2	3.8	47.8	4.4

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

.72回調査までの「原材料価格」のこと。73回調査から「仕入単価」として全業種を対象に調査。

図9. 仕入単価DIの推移(全体)

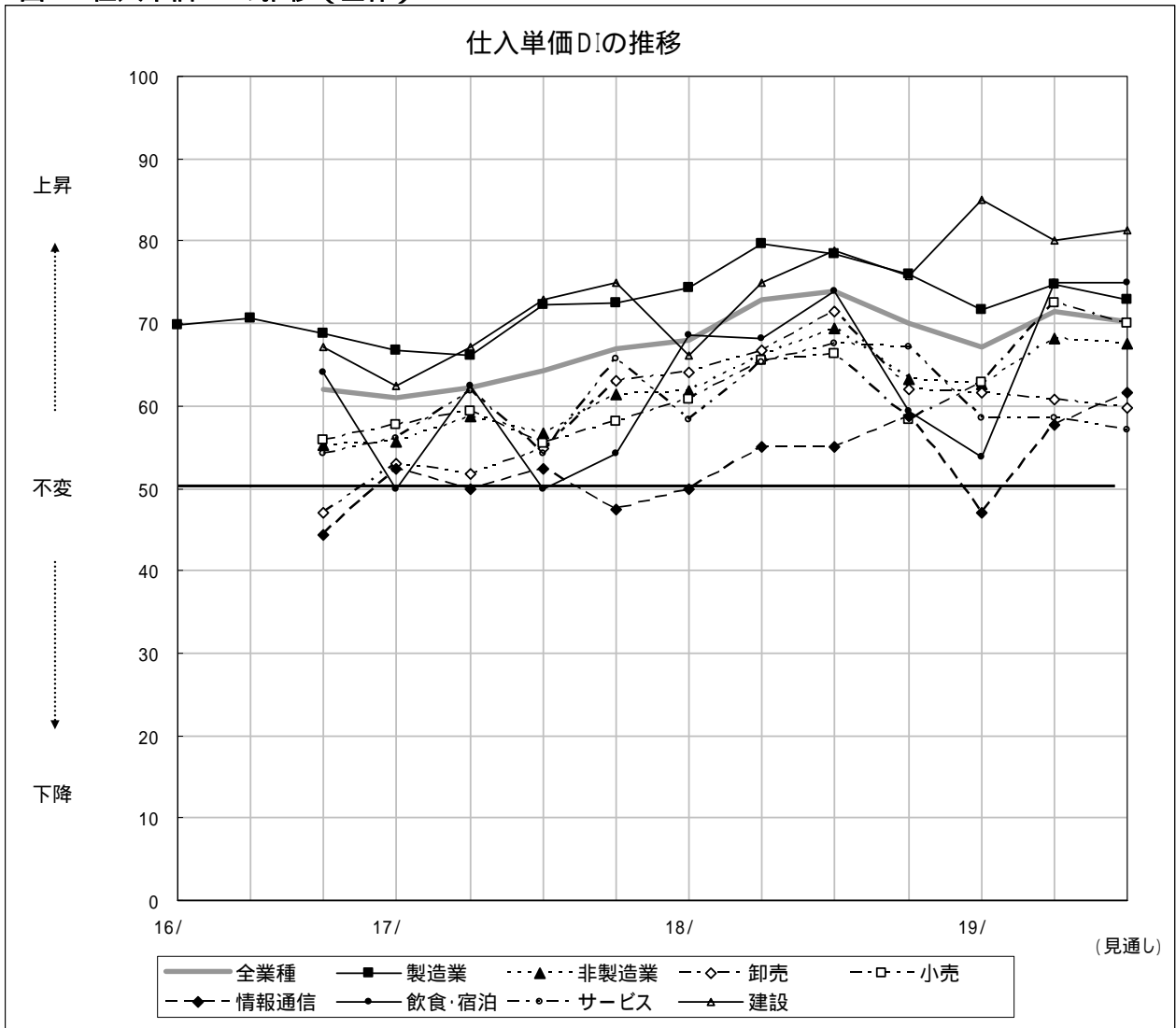


図 10. 仕入単価DIの推移（製造業）

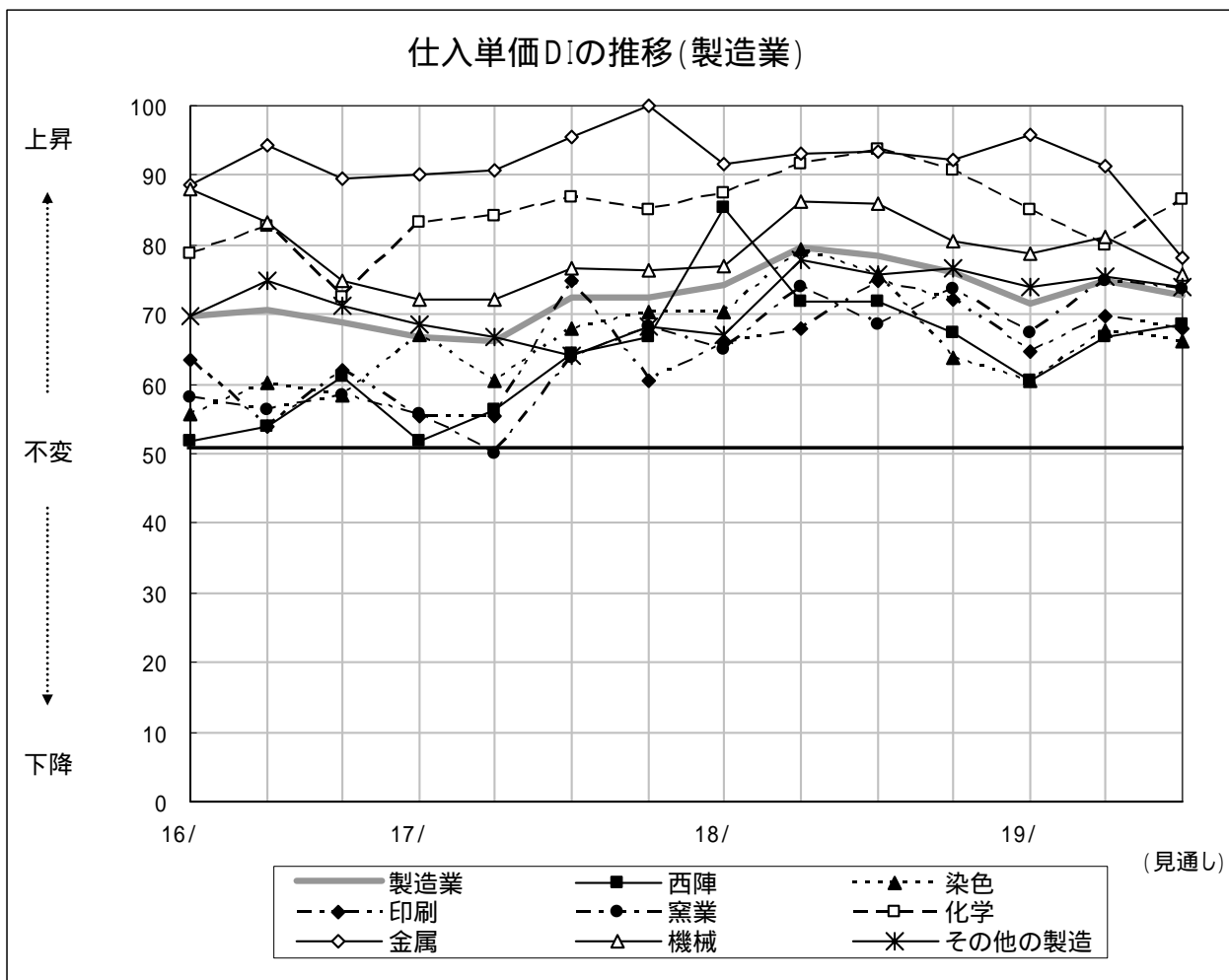


表 5. 仕入単価DI 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	67.1	71.5	4.4	70.2	1.3
製造業	71.6	74.8	3.2	72.9	1.9
西陣	60.3	66.7	6.4	68.5	1.8
染色	60.6	67.7	7.1	66.1	1.6
印刷	64.6	69.6	5.0	67.9	1.7
窯業	67.5	75.0	7.5	73.7	1.3
化学	85.0	80.0	5.0	86.7	6.7
金属	95.8	91.2	4.6	78.1	13.1
機械	78.8	81.3	2.5	75.8	5.5
その他の製造	73.9	75.3	1.4	73.9	1.4
非製造業	62.6	68.2	5.6	67.5	0.7
卸売	61.5	60.8	0.7	59.8	1.0
小売	62.9	72.5	9.6	70.0	2.5
情報通信	47.1	57.7	10.6	61.5	3.8
飲食・宿泊	53.8	75.0	21.2	75.0	0.0
サービス	58.6	58.6	0.0	57.1	1.5
建設	85.0	80.0	5.0	81.3	1.3
観光関連	61.1	72.0	10.9	69.6	2.4

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移(全体)

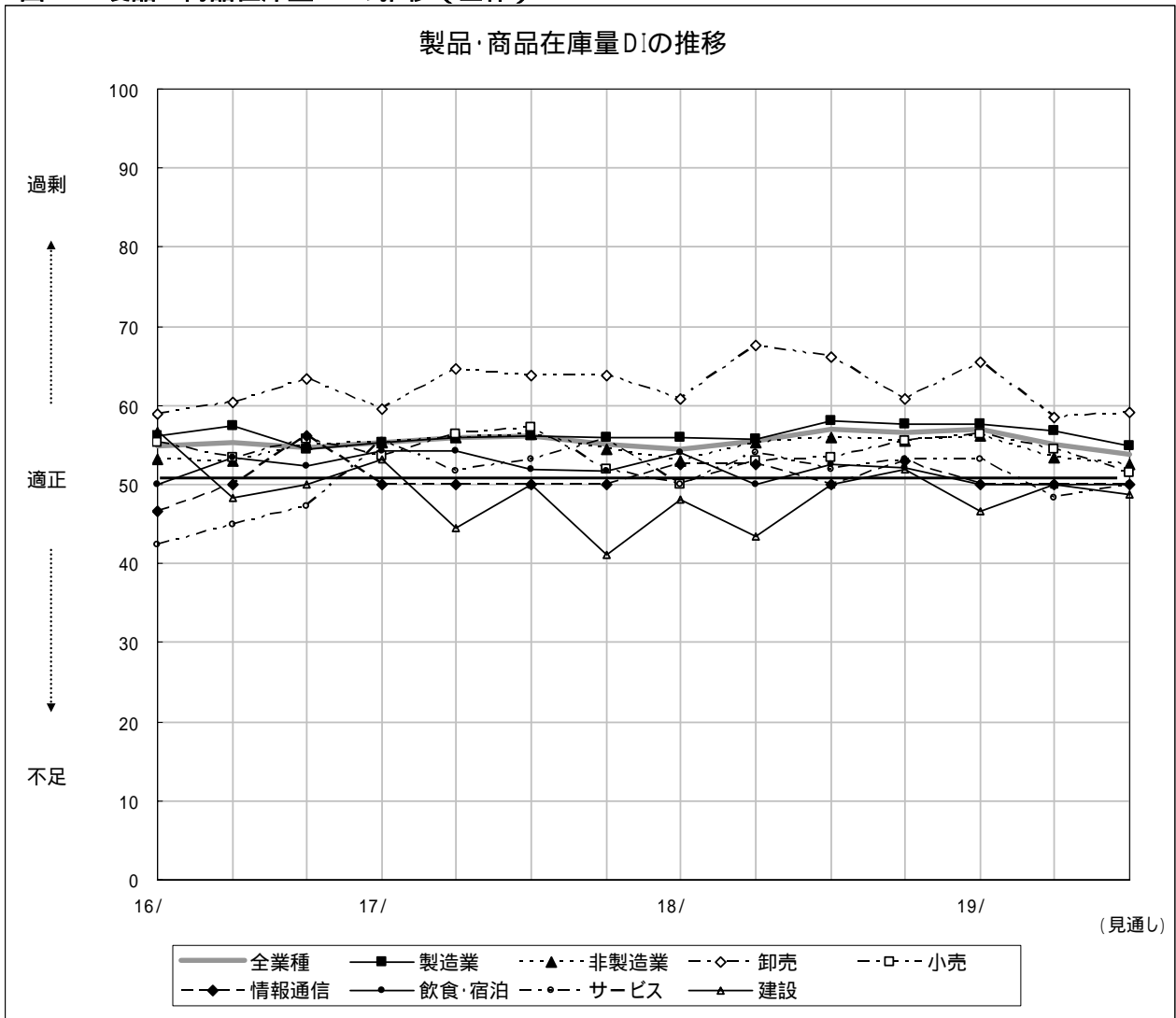


図 12. 製品・商品在庫量の推移（製造業）

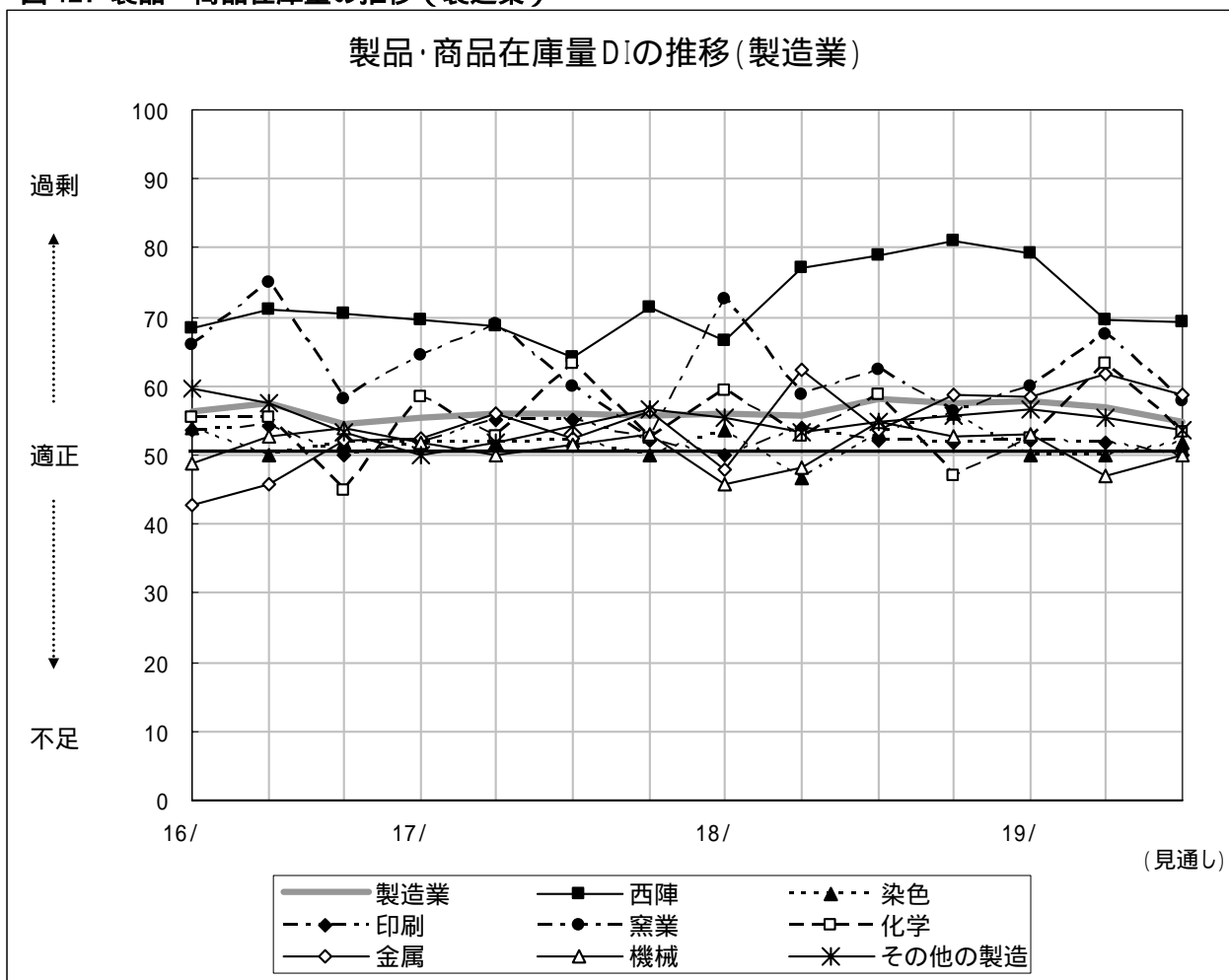


表 6. 製品・商品在庫量 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	57.0	55.1	1.9	53.8	1.3
製造業	57.7	56.8	0.9	54.9	1.9
西陣	79.3	69.6	9.7	69.2	0.4
染色	50.0	50.0	0.0	51.8	1.8
印刷	52.2	51.9	0.3	50.0	1.9
窯業	60.0	67.5	7.5	57.9	9.6
化学	52.5	63.3	10.8	53.3	10.0
金属	58.3	61.8	3.5	58.8	3.0
機械	53.0	47.0	6.0	50.0	3.0
その他の製造	56.7	55.6	1.1	53.6	2.0
非製造業	56.2	53.4	2.8	52.6	0.8
卸売	65.4	58.5	6.9	59.0	0.5
小売	56.5	54.4	2.1	51.6	2.8
情報通信	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
飲食・宿泊	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
サービス	53.2	48.3	4.9	50.0	1.7
建設	46.6	50.0	3.4	48.6	1.4
観光関連	56.0	52.2	3.8	50.0	2.2

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DIの推移（全体）

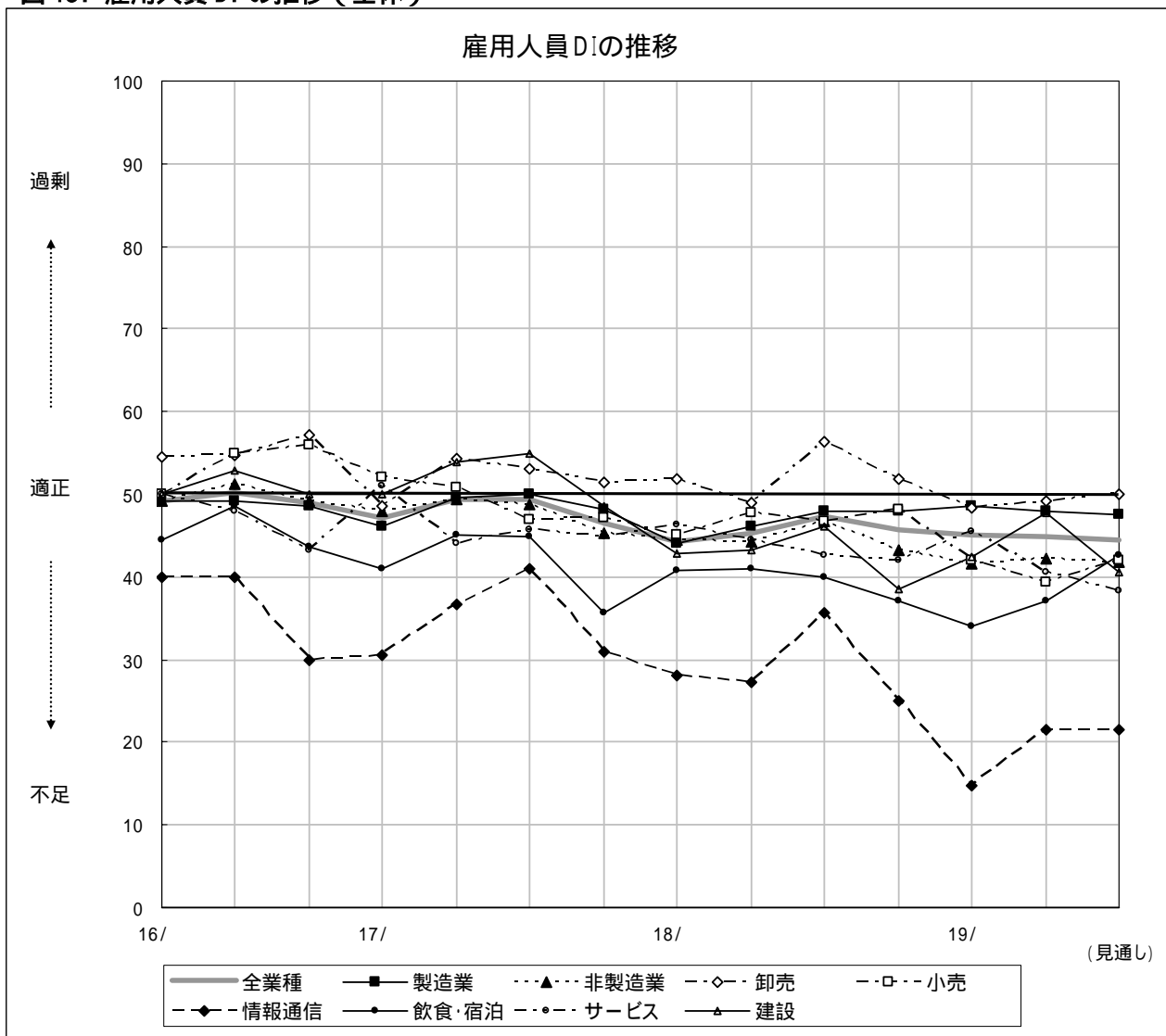


図 14. 雇用人員DIの推移（製造業）

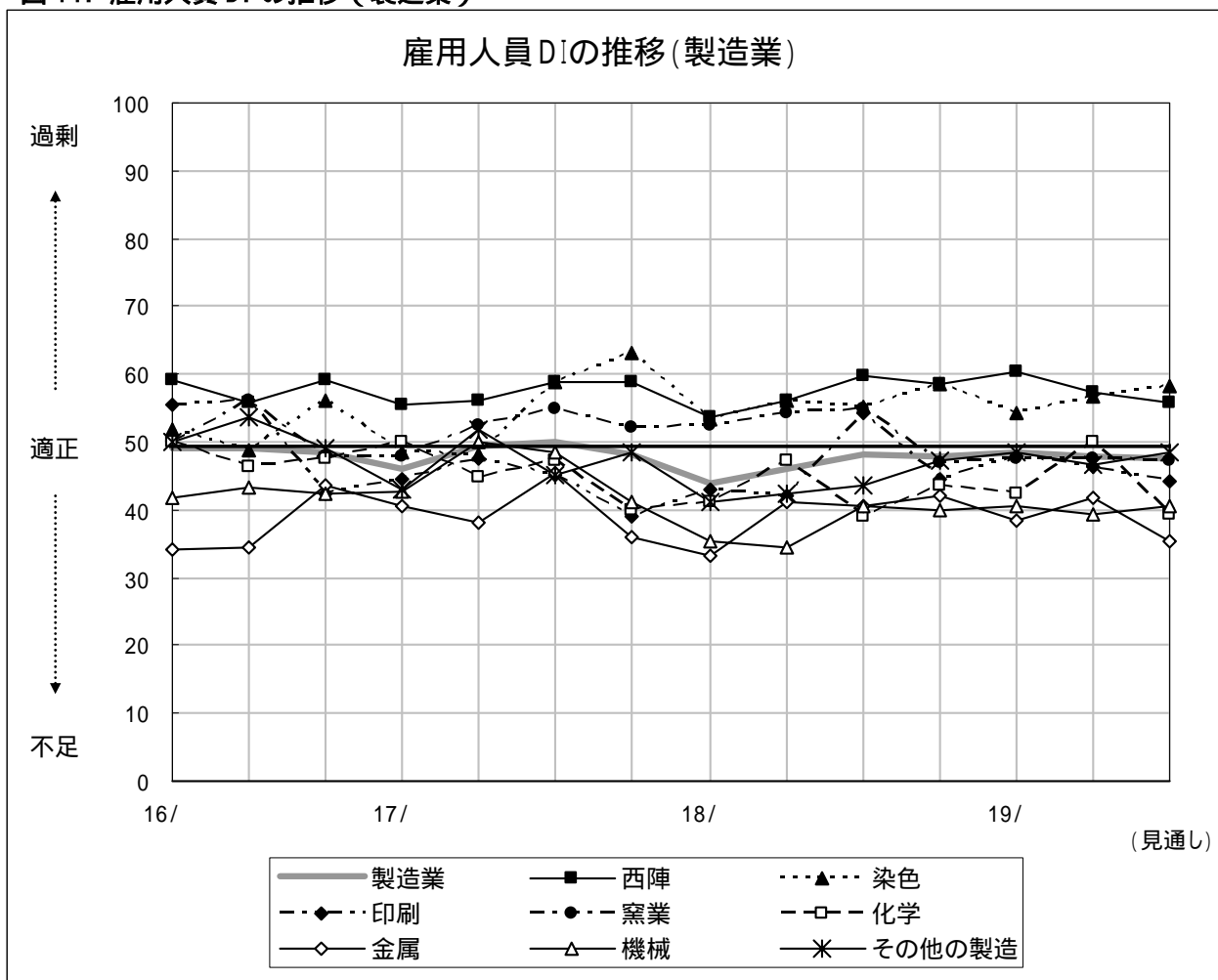


表 7. 雇用人員DI 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	45.1	44.9	0.2	44.6	0.3
製造業	48.5	47.9	0.6	47.4	0.5
西陣	60.3	57.4	2.9	55.8	1.6
染色	54.3	56.7	2.4	58.3	1.6
印刷	47.9	46.3	1.6	44.2	2.1
窯業	47.5	47.5	0.0	47.4	0.1
化学	42.5	50.0	7.5	39.3	10.7
金属	38.5	41.7	3.2	35.3	6.4
機械	40.6	39.4	1.2	40.6	1.2
其他の製造	48.5	46.6	1.9	48.6	2.0
非製造業	41.7	42.2	0.5	41.9	0.3
卸売	48.5	49.2	0.7	50.0	0.8
小売	41.9	39.4	2.5	41.9	2.5
情報通信	14.7	21.4	6.7	21.4	0.0
飲食・宿泊	34.0	37.0	3.0	42.6	5.6
サービス	45.6	40.6	5.0	38.3	2.3
建設	42.4	47.7	5.3	40.5	7.2
観光関連	40.7	38.5	2.2	48.0	9.5

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図 15. 資金繰りDIの推移（全体）

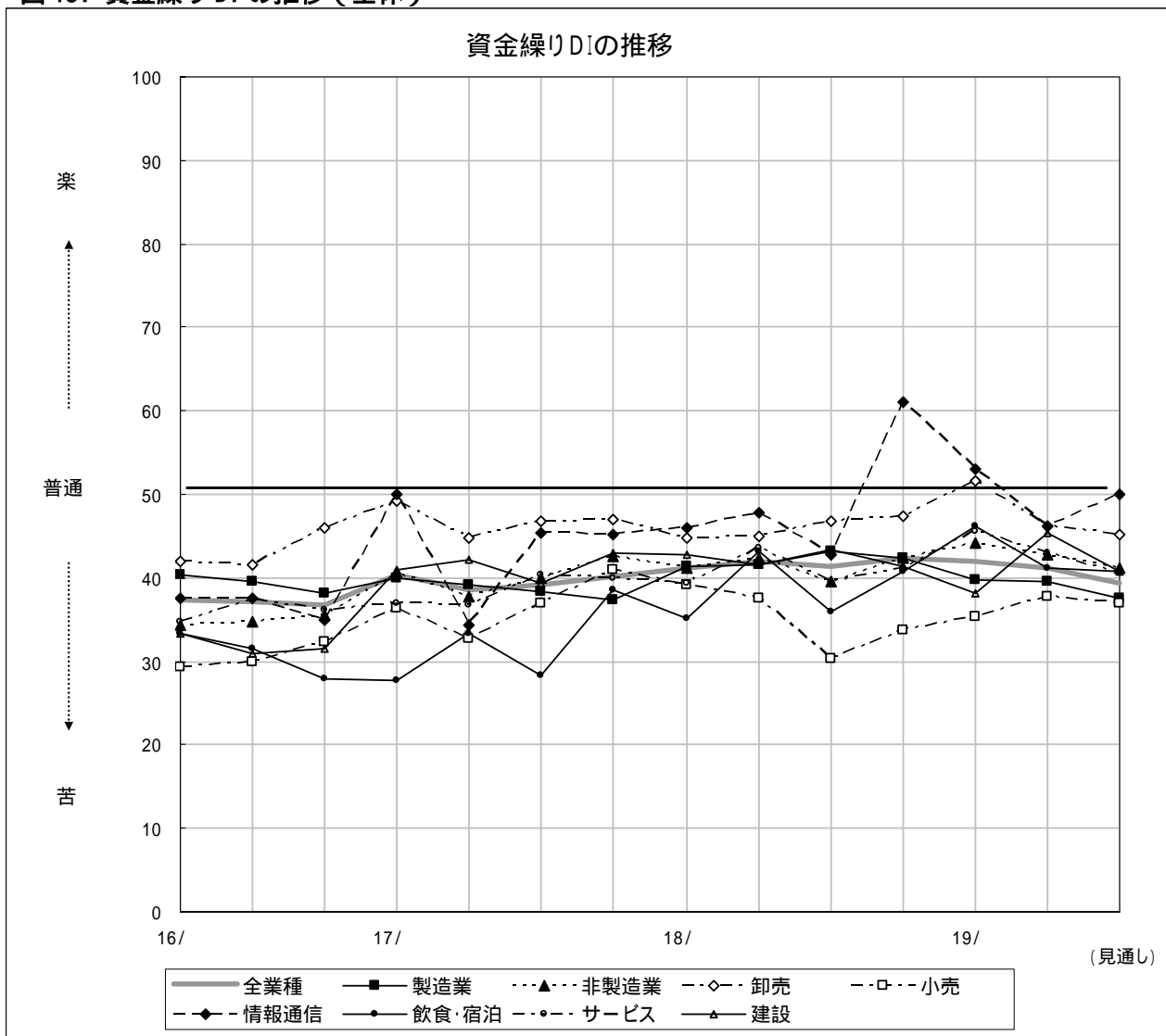


図 16. 資金繰りDIの推移（製造業）

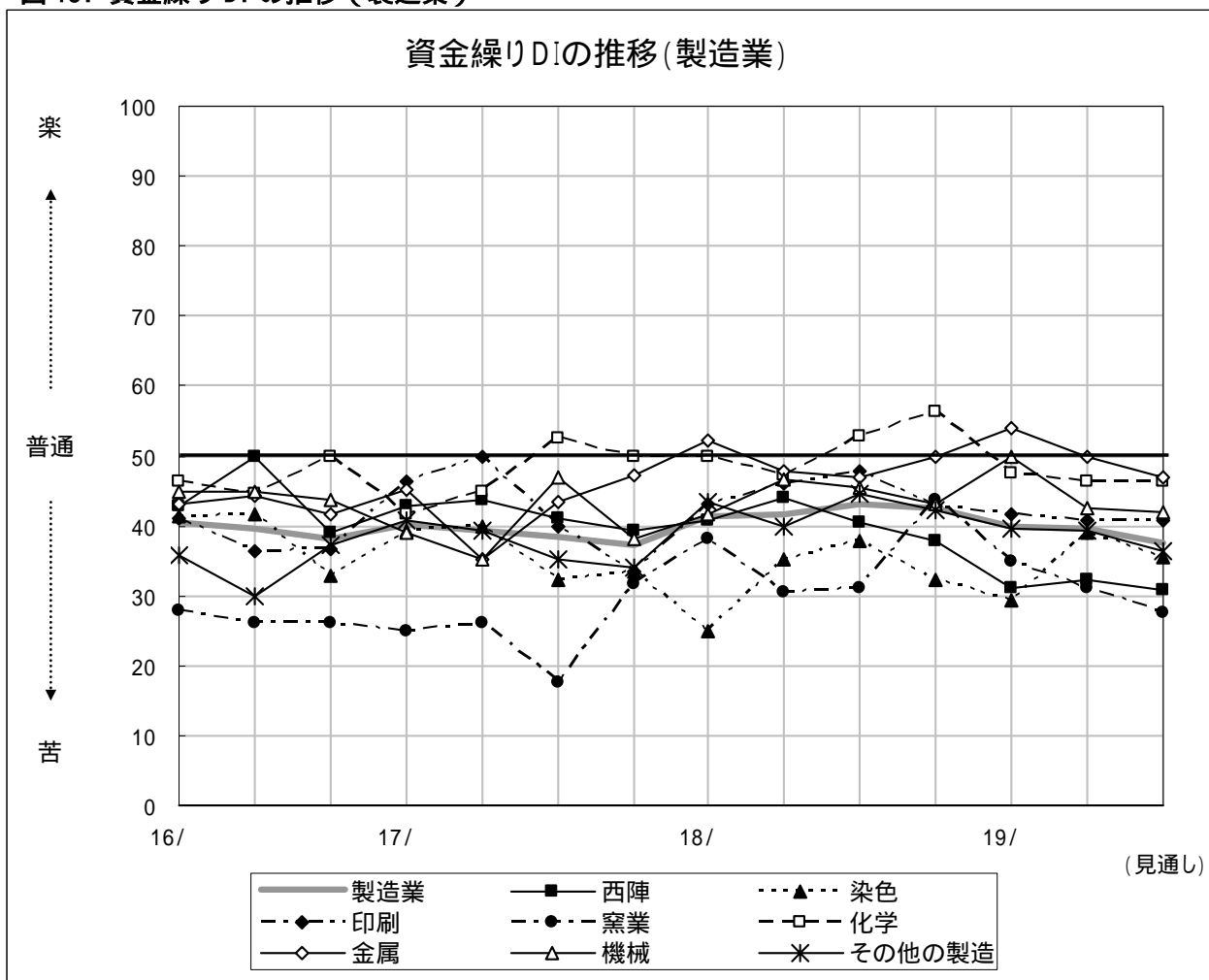


表 8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	42.0	41.2	0.8	39.5	1.7
製造業	39.8	39.5	0.3	37.5	2.0
西陣	31.0	32.1	1.1	30.8	1.3
染色	29.4	39.1	9.7	35.5	3.6
印刷	41.7	40.7	1.0	40.7	0.0
窯業	35.0	31.0	4.0	27.5	3.5
化学	47.5	46.4	1.1	46.4	0.0
金属	53.8	50.0	3.8	47.1	2.9
機械	50.0	42.4	7.6	41.9	0.5
その他の製造	39.6	39.2	0.4	36.4	2.8
非製造業	44.2	42.7	1.5	41.2	1.5
卸売	51.5	46.2	5.3	45.1	1.1
小売	35.2	37.7	2.5	36.9	0.8
情報通信	52.9	46.2	6.7	50.0	3.8
飲食・宿泊	46.2	41.1	5.1	40.7	0.4
サービス	45.6	43.0	2.6	40.6	2.4
建設	38.2	45.3	7.1	40.7	4.6
観光関連	42.6	44.2	1.6	36.0	8.2

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

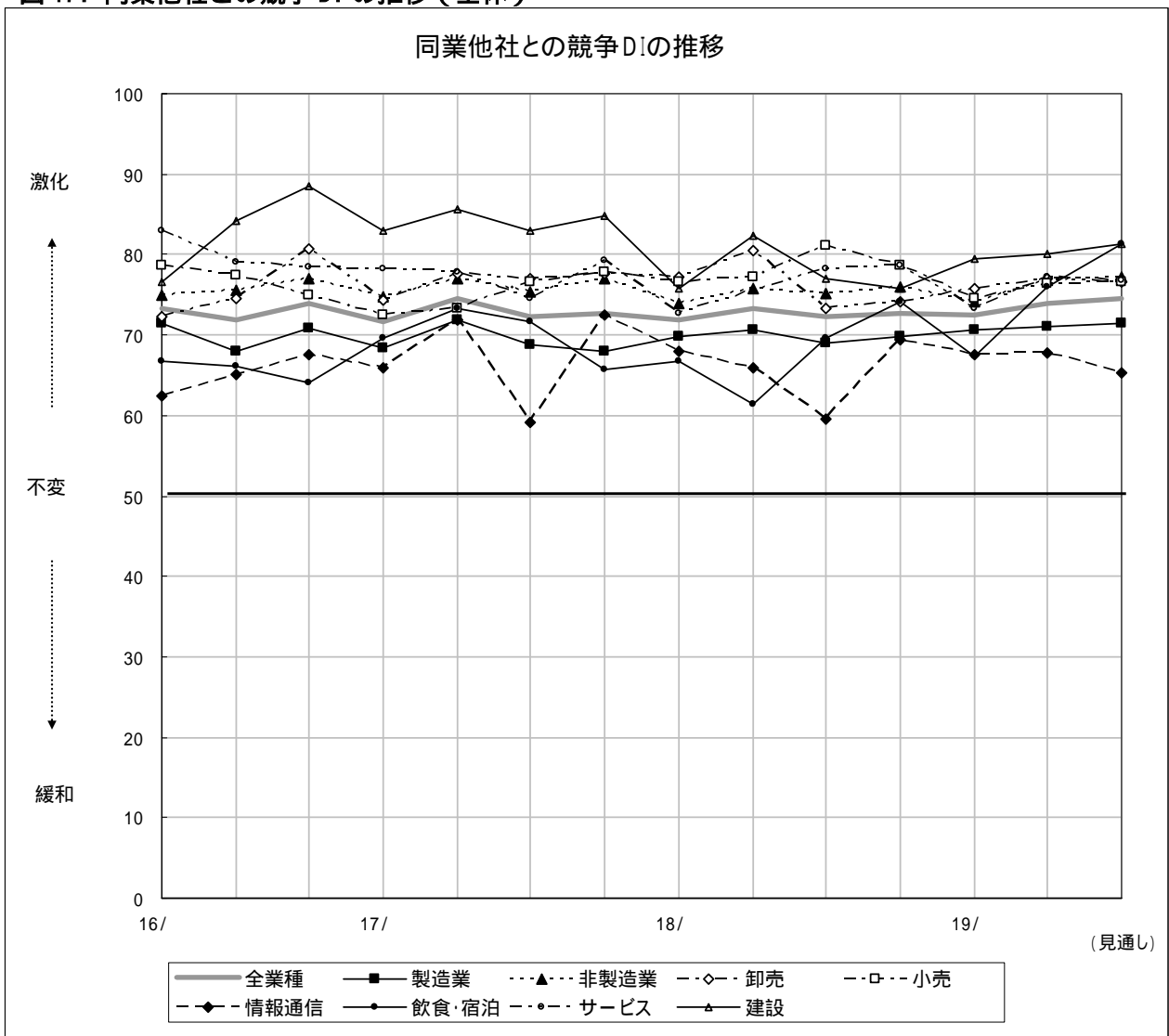


図 18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

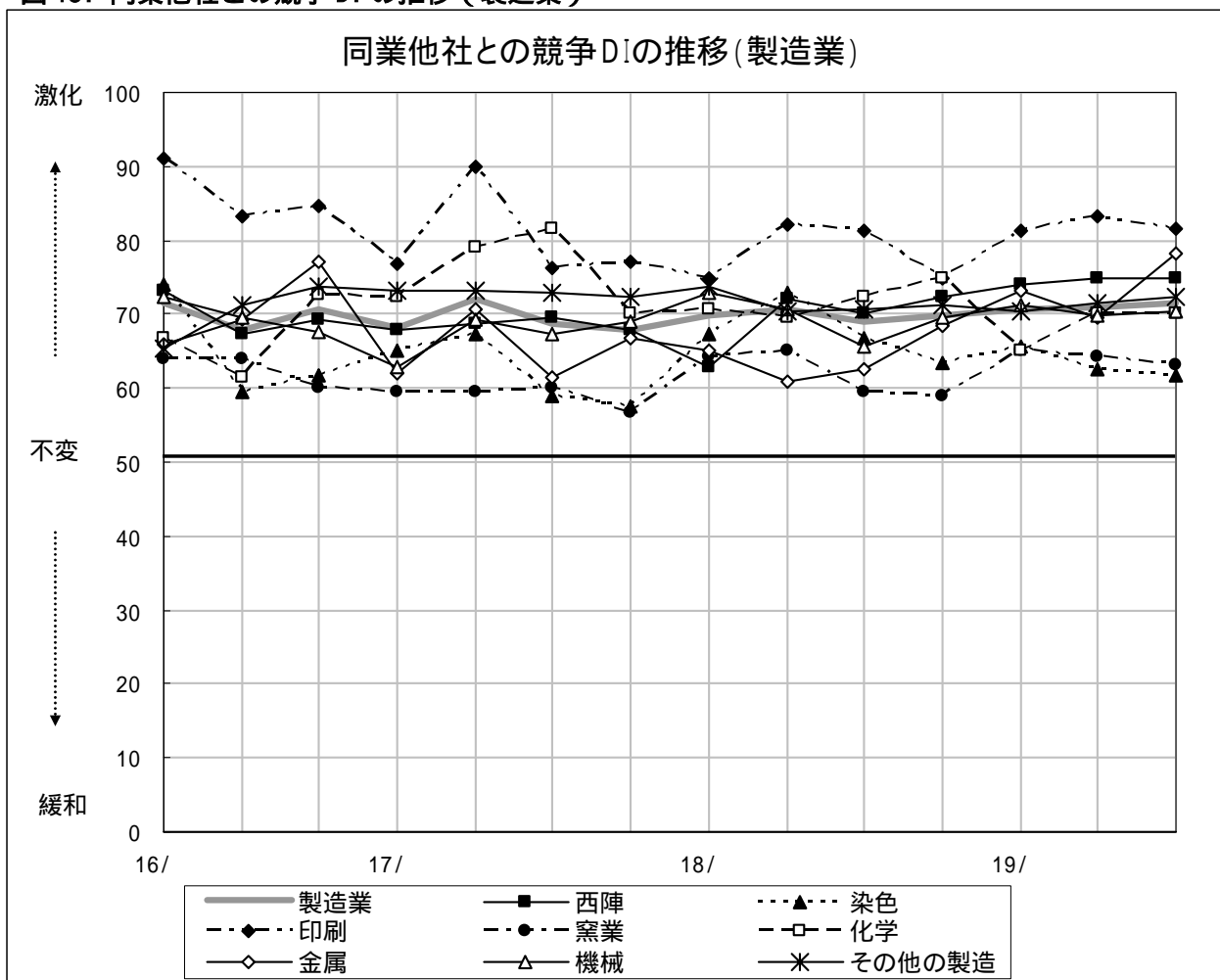


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	72.4	73.9	1.5	74.5	0.6
製造業	70.7	71.0	0.3	71.6	0.6
西陣	74.1	75.0	0.9	75.0	0.0
染色	65.6	62.5	3.1	61.7	0.8
印刷	81.3	83.3	2.0	81.5	1.8
窯業	65.0	64.3	0.7	63.2	1.1
化学	65.0	70.0	5.0	70.0	0.0
金属	73.1	69.4	3.7	78.1	8.7
機械	71.2	69.7	1.5	70.3	0.6
その他の製造	70.5	71.6	1.1	72.4	0.8
非製造業	74.1	76.7	2.6	77.3	0.6
卸売	75.8	76.9	1.1	76.7	0.2
小売	74.6	76.5	1.9	76.6	0.1
情報通信	67.6	67.9	0.3	65.4	2.5
飲食・宿泊	67.3	75.9	8.6	81.3	5.4
サービス	73.3	77.2	3.9	76.8	0.4
建設	79.4	80.0	0.6	81.3	1.3
観光関連	70.4	76.0	5.6	77.1	1.1

10. 受注残

図 19. 受注残 DI の推移

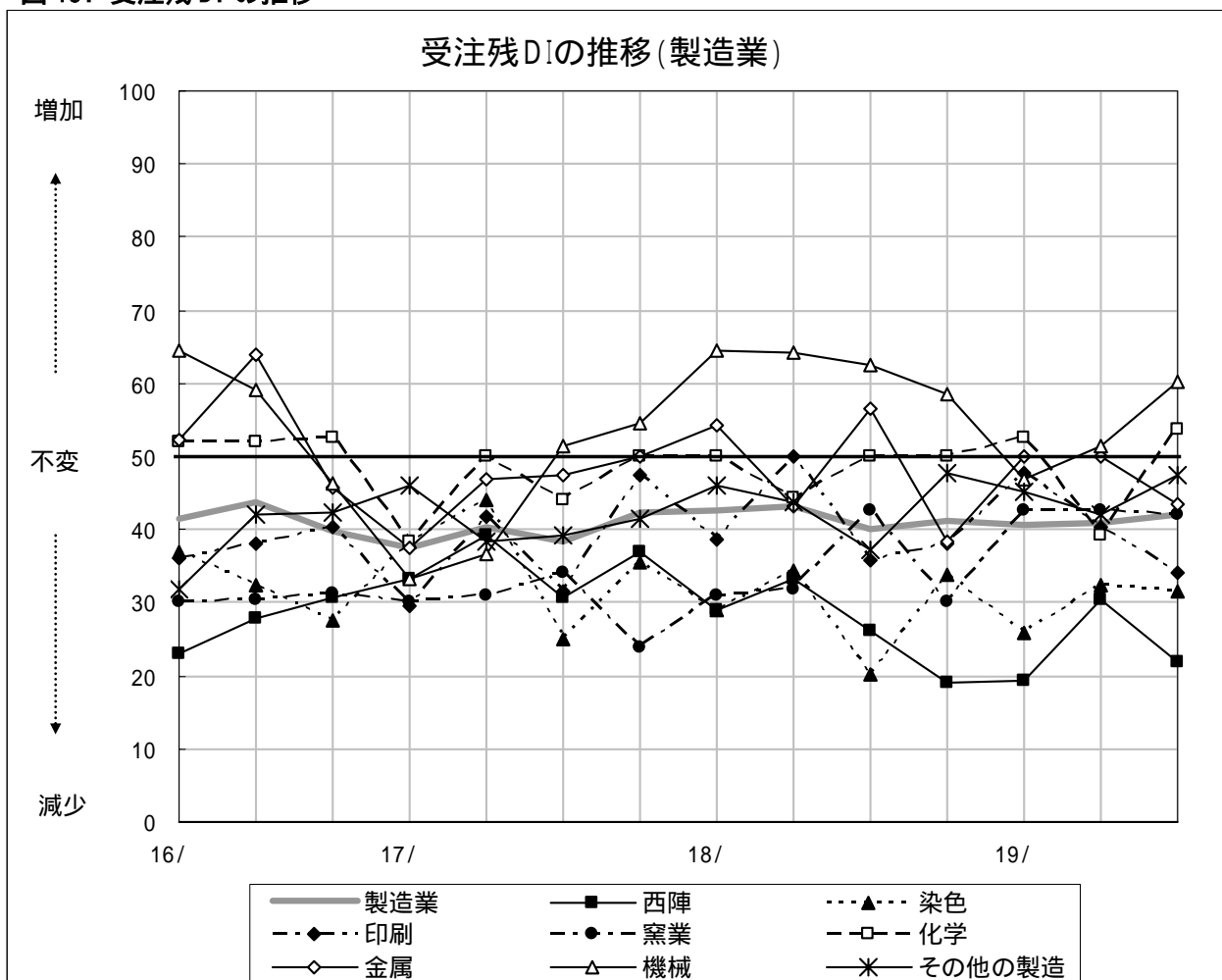


表 10. 受注残 DI 実績値 (前期 / 今期 / 来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	40.5	40.8	0.3	42.2	1.4
西陣	19.2	30.4	11.2	22.0	8.4
染色	25.8	32.3	6.5	31.7	0.6
印刷	47.7	40.4	7.3	34.0	6.4
窯業	42.5	42.5	0.0	42.1	0.4
化学	52.5	39.3	13.2	53.6	14.3
金属	50.0	50.0	0.0	43.3	6.7
機械	47.0	51.6	4.6	60.3	8.7
その他の製造	45.2	41.9	3.3	47.5	5.6
観光関連	66.7	40.0	26.7	50.0	10.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

11. 生産設備

図 20. 生産設備 DI の推移

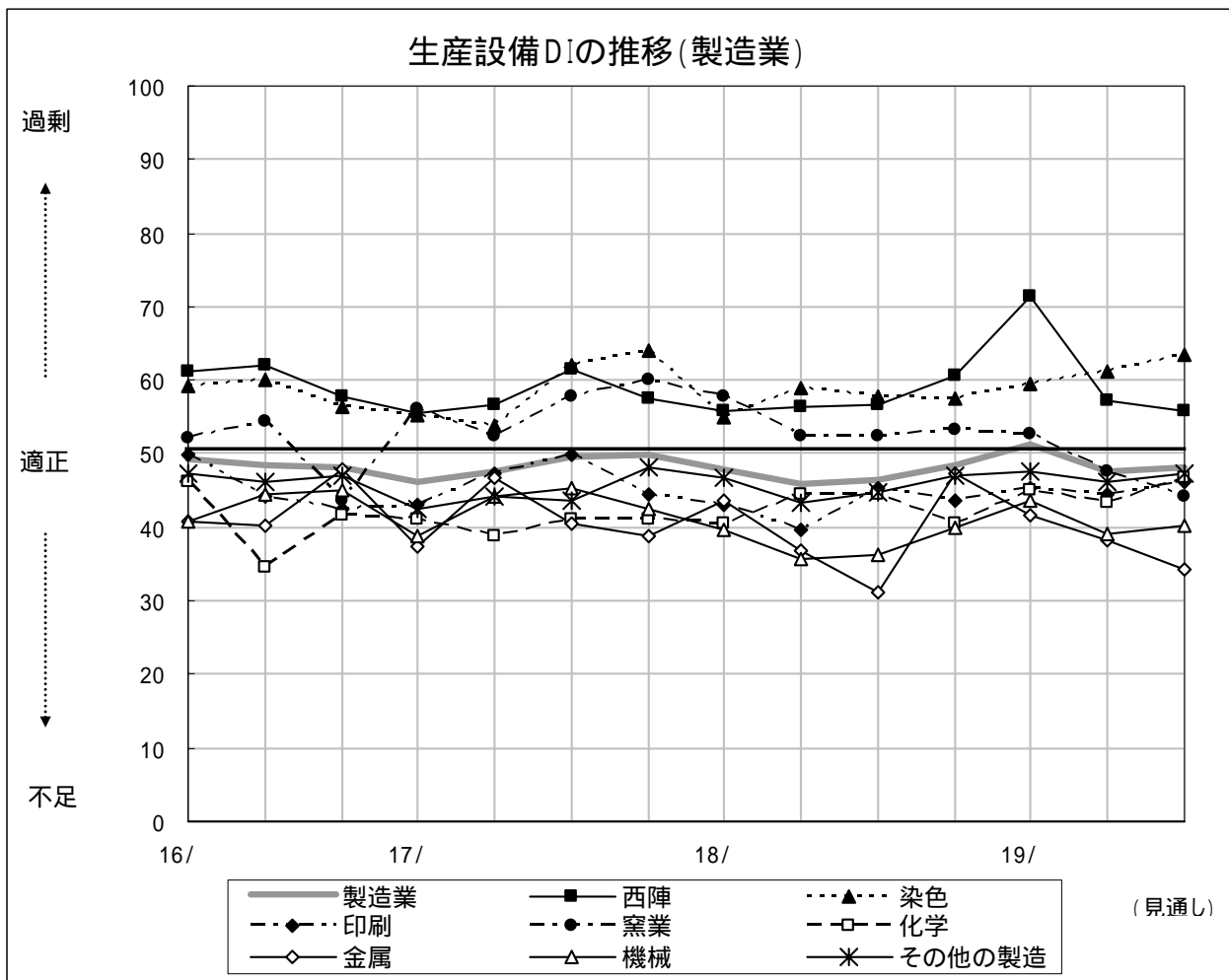


表 11. 生産設備 DI 実績値(前期, 今期)と来期見通し

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	51.3	47.6	3.7	48.2	0.6
西陣	71.4	57.1	14.3	55.8	1.3
染色	59.4	61.3	1.9	63.3	2.0
印刷	45.5	44.4	1.1	46.2	1.8
窯業	52.6	47.5	5.1	44.1	3.4
化学	45.0	43.3	1.7	46.7	3.4
金属	41.7	38.2	3.5	34.4	3.8
機械	43.8	39.1	4.7	40.3	1.2
その他の製造	47.6	46.1	1.5	47.4	1.3
観光関連	50.0	30.0	20.0	30.0	0.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

12. 設備投資

図 21. 設備投資DIの推移

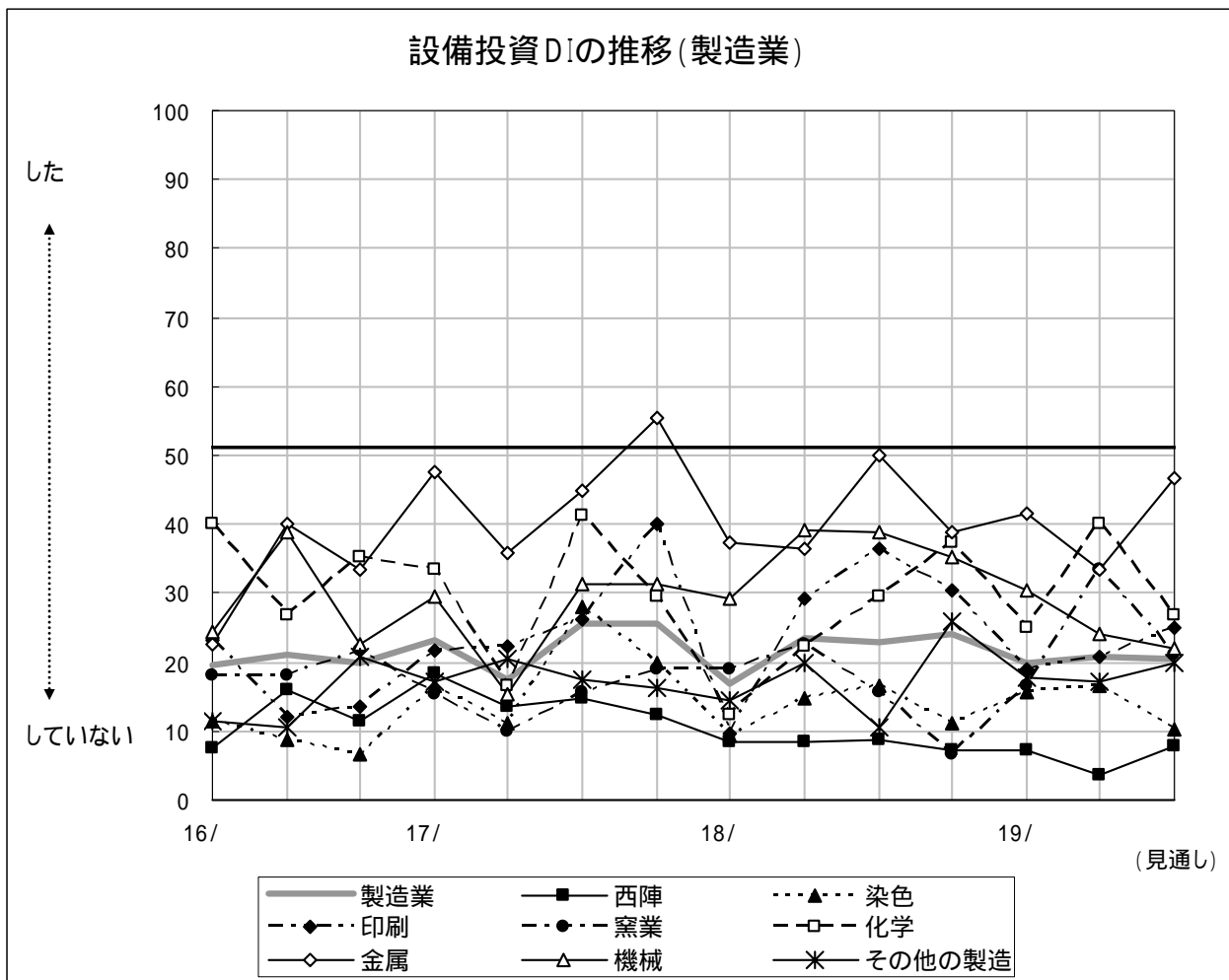


表 12. 設備投資DI 実績値(前期, 今期)と来期見通し

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	19.9	20.9	1.0	20.5	0.4
西陣	7.1	3.6	3.5	7.7	4.1
染色	15.6	16.7	1.1	10.3	6.4
印刷	19.0	20.8	1.8	25.0	4.2
窯業	16.7	33.3	16.6	21.1	12.2
化学	25.0	40.0	15.0	26.7	13.3
金属	41.7	33.3	8.4	46.7	13.4
機械	30.3	24.2	6.1	21.9	2.3
その他の製造	17.7	17.2	0.5	20.0	2.8
観光関連	16.7	20.0	3.3	20.0	0.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移 (18/ ~)

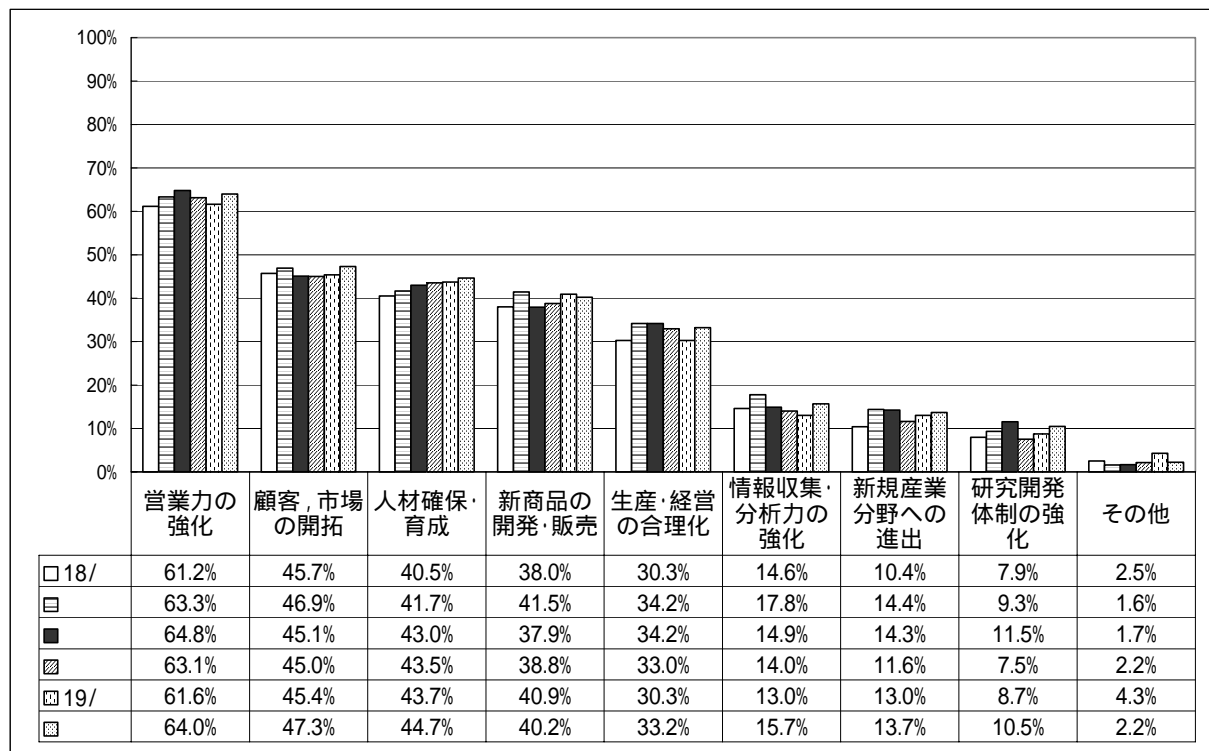


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

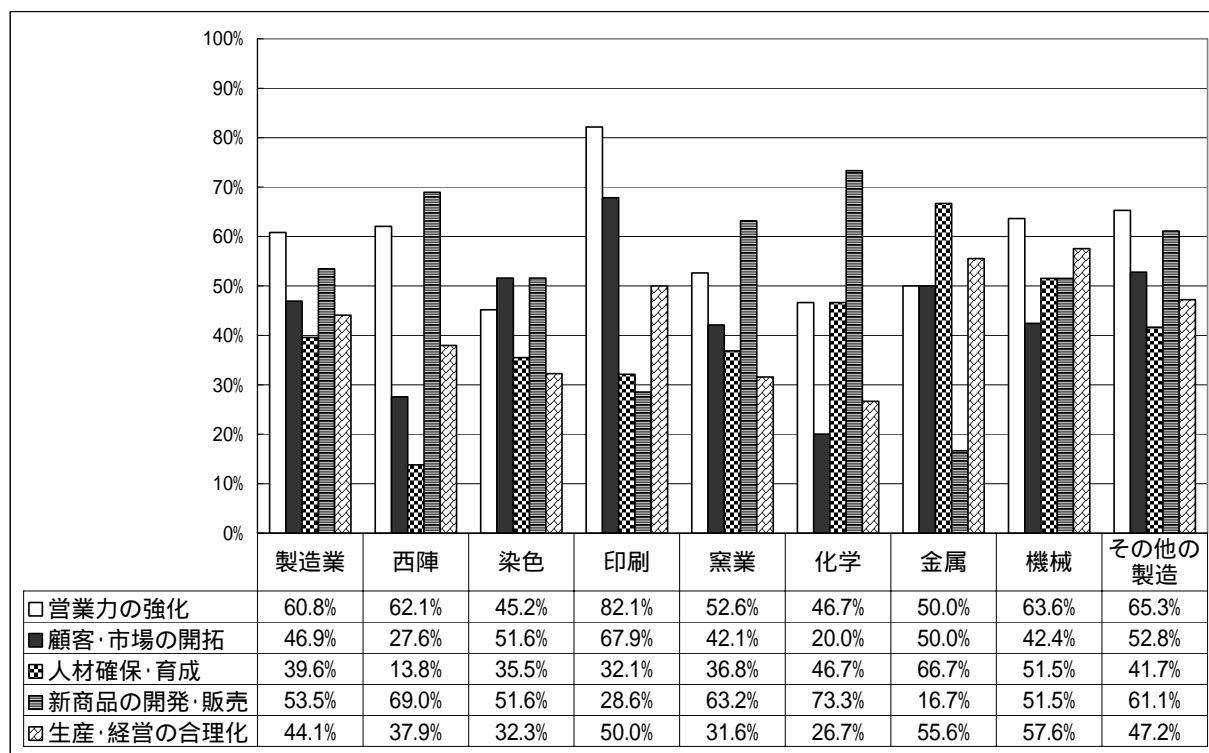


図 24. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

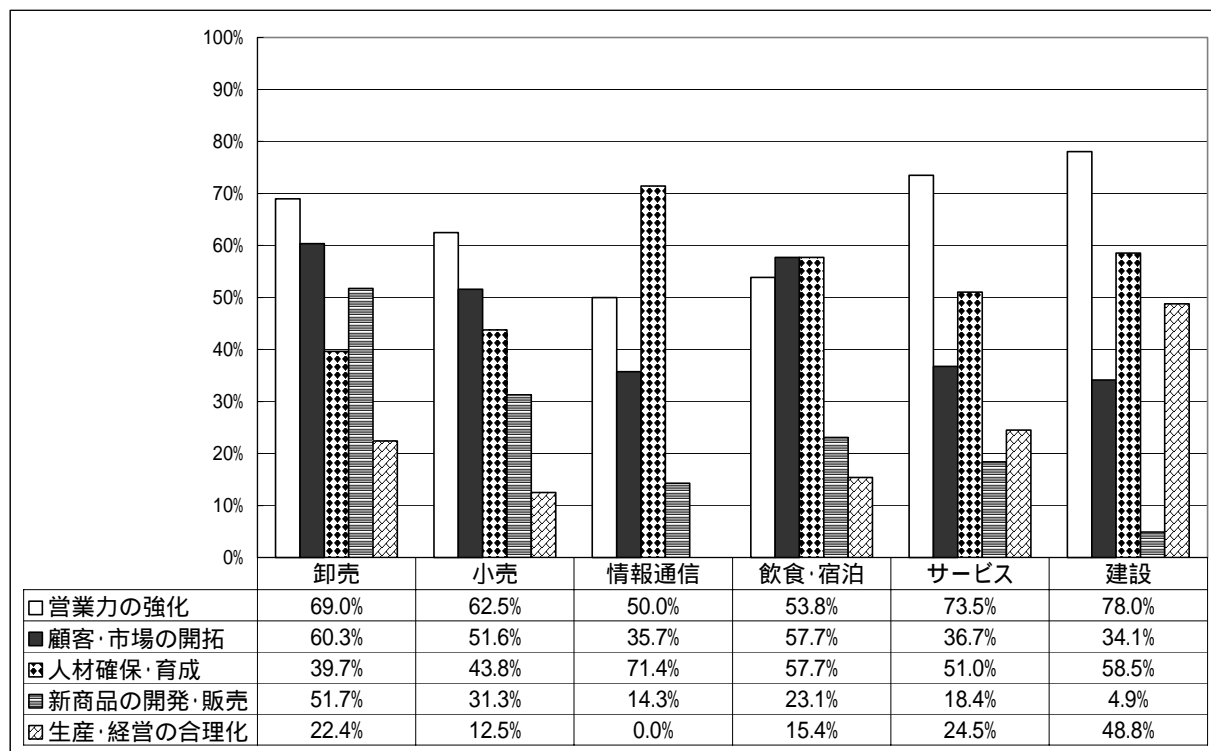


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	318 64.0%	165 33.2%	222 44.7%	68 13.7%	235 47.3%	200 40.2%	52 10.5%	78 15.7%	11 2.2%	497 100.0%	31
製造業	149 60.8%	108 44.1%	97 39.6%	33 13.5%	115 46.9%	131 53.5%	41 16.7%	37 15.1%	5 2.0%	245 100.0%	6
西陣	18 62.1%	11 37.9%	4 13.8%	4 13.8%	8 27.6%	20 69.0%	3 10.3%	6 20.7%	2 6.9%	29 100.0%	1
染色	14 45.2%	10 32.3%	11 35.5%	5 16.1%	16 51.6%	16 51.6%	1 3.2%	4 12.9%	0 0.0%	31 100.0%	1
印刷	23 82.1%	14 50.0%	9 32.1%	4 14.3%	19 67.9%	8 28.6%	2 7.1%	6 21.4%	0 0.0%	28 100.0%	0
窯業	10 52.6%	6 31.6%	7 36.8%	2 10.5%	8 42.1%	12 63.2%	2 10.5%	3 15.8%	3 15.8%	19 100.0%	2
化学	7 46.7%	4 26.7%	7 46.7%	2 13.3%	3 20.0%	11 73.3%	9 60.0%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%	0
金属	9 50.0%	10 55.6%	12 66.7%	1 5.6%	9 50.0%	3 16.7%	5 27.8%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%	0
機械	21 63.6%	19 57.6%	17 51.5%	8 24.2%	14 42.4%	17 51.5%	9 27.3%	4 12.1%	0 0.0%	33 100.0%	0
その他の製造	47 65.3%	34 47.2%	30 41.7%	7 9.7%	38 52.8%	44 61.1%	10 13.9%	11 15.3%	0 0.0%	72 100.0%	2
非製造業	169 67.1%	57 22.6%	125 49.6%	35 13.9%	120 47.6%	69 27.4%	11 4.4%	41 16.3%	6 2.4%	252 100.0%	25
卸売	40 69.0%	13 22.4%	23 39.7%	15 25.9%	35 60.3%	30 51.7%	5 8.6%	8 13.8%	0 0.0%	58 100.0%	7
小売	40 62.5%	8 12.5%	28 43.8%	10 15.6%	33 51.6%	20 31.3%	3 4.7%	12 18.8%	0 0.0%	64 100.0%	6
情報通信	7 50.0%	0 0.0%	10 71.4%	3 21.4%	5 35.7%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%	1
飲食・宿泊	14 53.8%	4 15.4%	15 57.7%	2 7.7%	15 57.7%	6 23.1%	1 3.8%	2 7.7%	3 11.5%	26 100.0%	4
サービス	36 73.5%	12 24.5%	25 51.0%	3 6.1%	18 36.7%	9 18.4%	0 0.0%	8 16.3%	3 6.1%	49 100.0%	5
建設	32 78.0%	20 48.8%	24 58.5%	2 4.9%	14 34.1%	2 4.9%	1 2.4%	11 26.8%	0 0.0%	41 100.0%	2
観光関連	26 54.2%	12 25.0%	28 58.3%	7 14.6%	22 45.8%	25 52.1%	1 2.1%	5 10.4%	4 8.3%	48 100.0%	3

(3) 経営上の不安要素について

図 25. 経営上の不安要素・全体回答状況

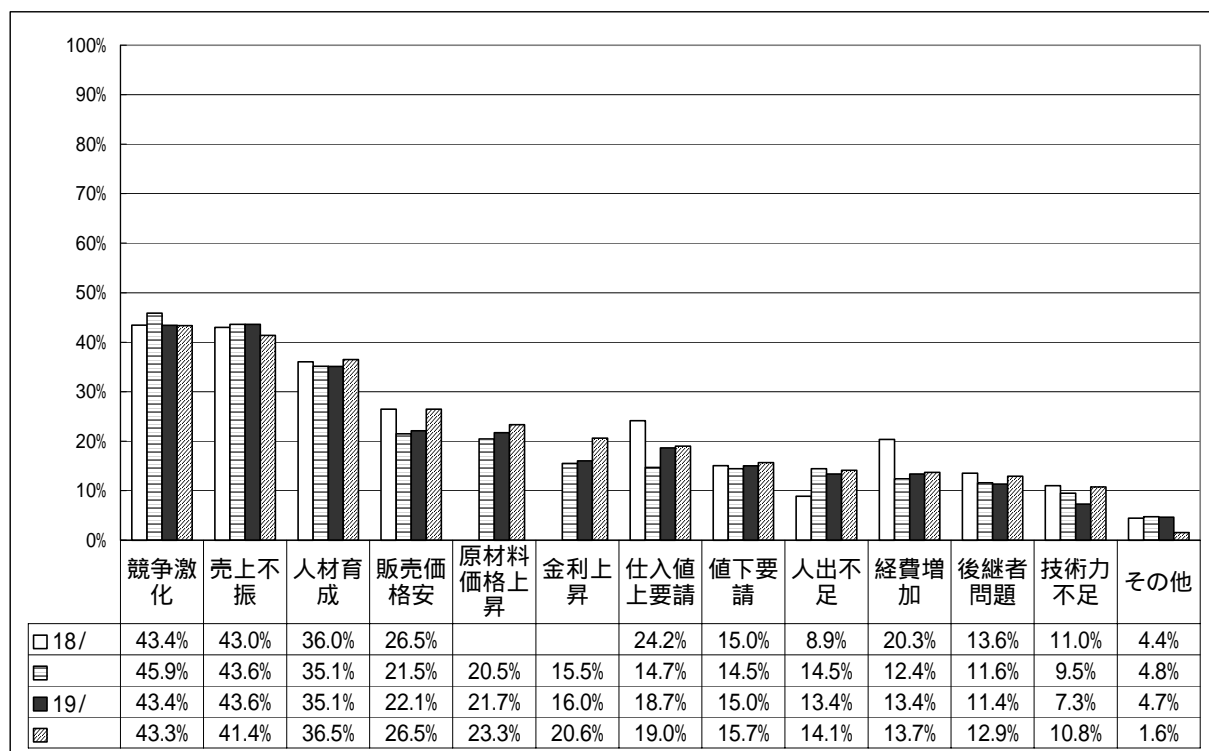


図 26. 経営上の不安要素・製造業主要回答

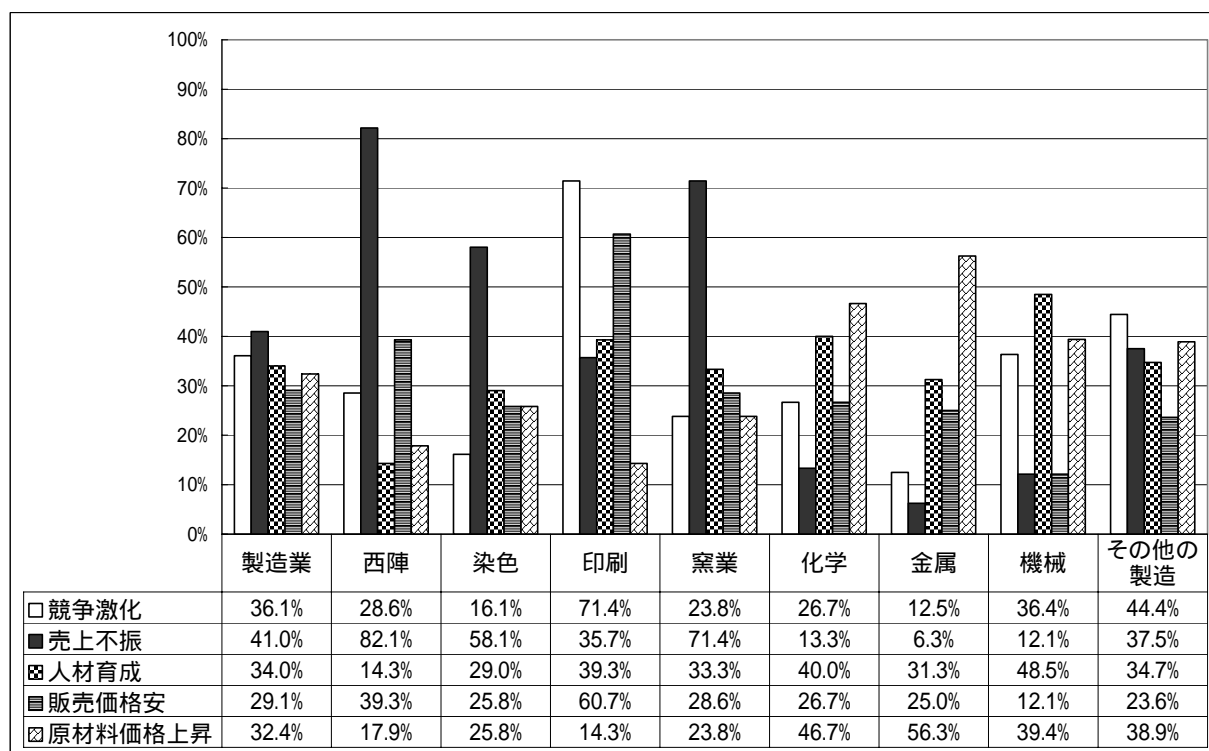


図 27. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

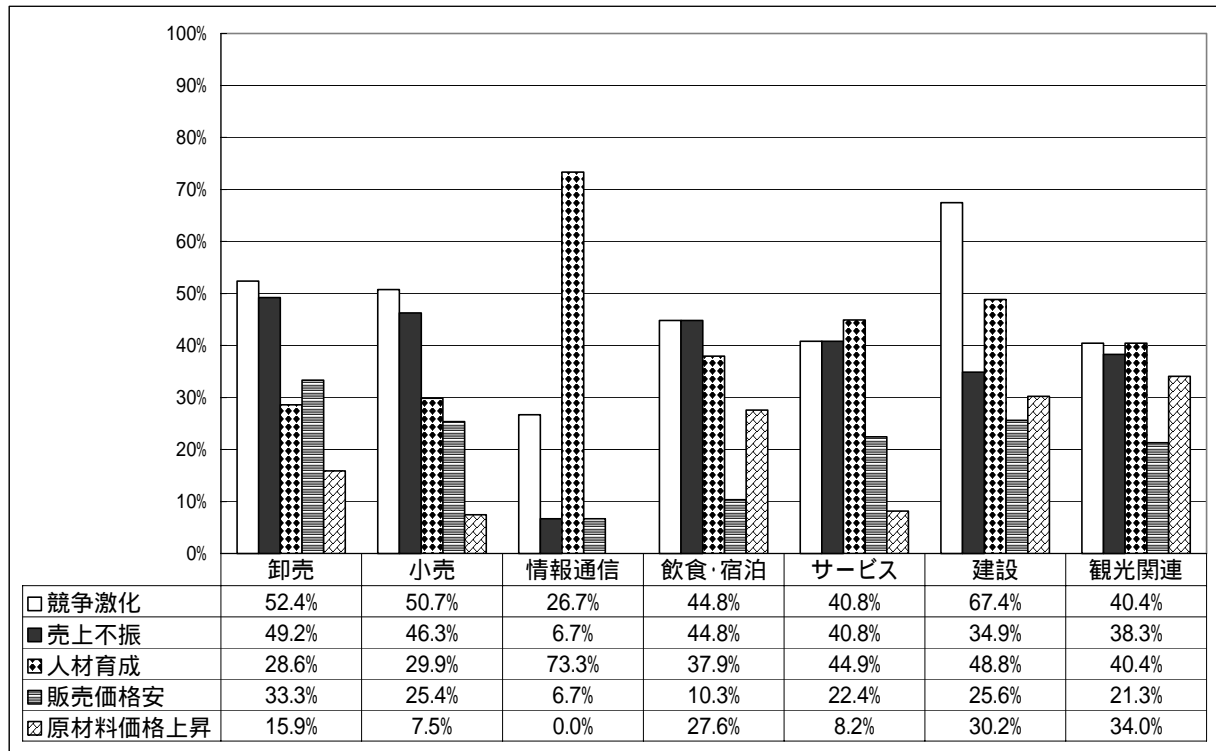


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安	技術力不 足	後継者問題	人出不足	経費増加	その他	有効回答	無回答
全業種	221 43.3%	211 41.4%	186 36.5%	80 15.7%	97 19.0%	119 23.3%	105 20.6%	135 26.5%	55 10.8%	66 12.9%	72 14.1%	70 13.7%	8 1.6%	510 100.0%	18
製造業	88 36.1%	100 41.0%	83 34.0%	45 18.4%	47 19.3%	79 32.4%	47 19.3%	71 29.1%	39 16.0%	27 11.1%	28 11.5%	30 12.3%	4 1.6%	244 100.0%	7
西陣	8 28.6%	23 82.1%	4 14.3%	2 7.1%	4 14.3%	5 17.9%	3 10.7%	11 39.3%	2 7.1%	3 10.7%	1 3.6%	0 0.0%	2 7.1%	28 100.0%	2
染色	5 16.1%	18 58.1%	9 29.0%	5 16.1%	4 12.9%	8 25.8%	8 25.8%	2 6.5%	4 12.9%	3 9.7%	2 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	31 100.0%	1
印刷	20 71.4%	10 35.7%	11 39.3%	8 28.6%	4 14.3%	4 14.3%	9 32.1%	17 60.7%	3 10.7%	2 7.1%	3 10.7%	2 7.1%	0 0.0%	28 100.0%	0
窯業	5 23.8%	15 71.4%	7 33.3%	2 9.5%	3 14.3%	5 23.8%	3 14.3%	6 28.6%	2 9.5%	3 14.3%	0 0.0%	2 9.5%	1 4.8%	21 100.0%	0
化学	4 26.7%	2 13.3%	6 40.0%	2 13.3%	3 20.0%	7 46.7%	4 26.7%	4 26.7%	4 26.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%	0
金属	2 12.5%	1 6.3%	5 31.3%	6 37.5%	4 25.0%	9 56.3%	2 12.5%	4 25.0%	3 18.8%	1 6.3%	4 25.0%	1 6.3%	0 0.0%	16 100.0%	2
機械	12 36.4%	4 12.1%	16 48.5%	8 24.2%	7 21.2%	13 39.4%	3 9.1%	4 12.1%	12 36.4%	3 9.1%	6 18.2%	10 30.3%	0 0.0%	33 100.0%	0
その他の製造	32 44.4%	27 37.5%	25 34.7%	12 16.7%	18 25.0%	28 38.9%	15 20.8%	17 23.6%	11 15.3%	10 13.9%	10 13.9%	12 16.7%	1 1.4%	72 100.0%	2
非製造業	133 50.0%	111 41.7%	103 38.7%	35 13.2%	50 18.8%	40 15.0%	58 21.8%	64 24.1%	16 6.0%	39 14.7%	44 16.5%	40 15.0%	4 1.5%	266 100.0%	11
卸売	33 52.4%	31 49.2%	18 28.6%	9 14.3%	17 27.0%	10 15.9%	14 22.2%	21 33.3%	1 1.6%	7 11.1%	7 11.1%	1 1.6%	0 0.0%	63 100.0%	2
小売	34 50.7%	31 46.3%	20 29.9%	7 10.4%	20 29.9%	5 7.5%	16 23.9%	17 25.4%	2 3.0%	11 16.4%	6 9.0%	13 19.4%	1 1.5%	67 100.0%	3
情報通信	4 26.7%	1 6.7%	11 73.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%	5 33.3%	2 13.3%	6 40.0%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%	0
飲食・宿泊	13 44.8%	13 44.8%	11 37.9%	1 3.4%	1 3.4%	8 27.6%	9 31.0%	3 10.3%	1 3.4%	8 27.6%	8 27.6%	14 48.3%	0 0.0%	29 100.0%	1
サービス	20 40.8%	20 40.8%	22 44.9%	8 16.3%	2 4.1%	4 8.2%	9 18.4%	11 22.4%	3 6.1%	7 14.3%	9 18.4%	7 14.3%	2 4.1%	49 100.0%	5
建設	29 67.4%	15 34.9%	21 48.8%	9 20.9%	10 23.3%	13 30.2%	8 18.6%	11 25.6%	4 9.3%	4 9.3%	8 18.6%	4 9.3%	1 2.3%	43 100.0%	0
観光関連	19 40.4%	18 38.3%	19 40.4%	3 6.4%	10 21.3%	16 34.0%	13 27.7%	10 21.3%	2 4.3%	6 12.8%	11 23.4%	14 29.8%	1 2.1%	47 100.0%	4

参考:分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
明治以前	15 (2.8)
明治	24 (4.5)
大正	14 (2.7)
昭和19年以前	34 (6.4)
20～39年	182 (34.5)
40～49年	99 (18.8)
昭和50年以降	78 (14.8)
平成	67 (12.7)
無回答	1 (0.2)
不明	14 (2.7)
合計	528 (100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
法人	446 (84.5)
個人	23 (4.4)
無回答	59 (11.2)
合計	528 (100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
製造業	251 (47.5)	非製造業	277 (52.5)
西陣	30 (5.7)	卸売	65 (12.3)
染色	32 (6.1)	小売	70 (13.3)
印刷	28 (5.3)	情報通信	15 (2.8)
窯業	21 (4.0)	飲食・宿泊	30 (5.7)
化学	15 (2.8)	サービス	54 (10.2)
金属	18 (3.4)	建設	43 (8.1)
機械	33 (6.3)	不明	0 (0.0)
その他の製造	74 (14.0)	合計	528 (100.0)

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
～100万円	0 (0.0)	3001～5000	68 (15.2)
101～200	1 (0.2)	5001～1億円	37 (8.3)
201～500	39 (8.7)	1億円超	7 (1.6)
501～1000	168 (37.7)	無回答	0 (0.0)
1001～3000	126 (28.3)	合計	446 (100.0)

法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
0～4人	80 (15.2)	50～99人	74 (14.0)
5～9人	94 (17.8)	100人以上	43 (8.1)
10～19人	106 (20.1)	無回答	1 (0.2)
20～29人	60 (11.4)	合計	528 (100.0)
30～49人	70 (13.3)		

第83回京都市中小企業経営動向実態調査

京都市産業観光局

(TEL:222-3333 FAX:222-3331)

【締切日 平成19年6月8日(金)】

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には 印をお付けください。電算処理いたしますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名						
経営形態	法人・個人	資本金		万円	電話	
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成)	年	従業員数		人	
業種	製造業： A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造					
	非製造業： I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設					
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業，商品を扱う卸売業，小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は，「3 25%未満」に をお付けください。					
主な製品・商品，サービス						
御記入者	部課：	役職：	氏名：			

業種の記入につきましては，別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに 印をお付けください。

項目	期 間	平成19年4月～6月の実績 (前年の同期と比較して)			平成19年7月～9月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
貴社の業況		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
生産加工量・販売量		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
経常利益(税引前)		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
製品・加工単価，販売単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
仕 入 単 価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
製品・商品在庫量		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
雇 用 人 員		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
資 金 繰 り		楽	普 通	苦	楽	普 通	苦
同業他社との競争		激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和
「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い		す る	し な い	

(2) 該当するものに 印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに 印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化 | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(裏面も御記入ください。)

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに 印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 その他() | | |

(5) 中小企業における融資状況についてお尋ねします。

A. 貴社の主力取引先金融機関(メインバンク)はどのようなところですか。該当するものに 印をお付けください。

- | | | | |
|------------|------------|----------|---------------|
| 1 都銀, 信託銀行 | 2 地銀, 第二地銀 | 3 信金, 信組 | 4 政府系中小企業金融機関 |
| 5 その他() | | | |

B. 金融機関との取引において, 信用保証協会による融資保証制度を利用していますか。該当するものを下記から選び, 印をお付けください。

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない | 3 その他 () |
|----------|-----------|-----------|

C. Bの質問で「2 利用していない」と回答された方にお尋ねします。
融資保証制度を利用しない理由は何ですか。該当するものを下記から選び, 印をお付けください。

- | | | |
|---------------|-------------------|----------------|
| 1 融資保証制度を知らない | 2 利用しなくても融資を受けられる | 3 自己資金でまかなえている |
| 4 その他() | | |

D. 貴社の設備投資等において, 取引金融機関からの借入以外でどのような資金調達の方法を採られていますか。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------|-------------|----------------|
| 1 自己資金(親族からの借入含む) | 2 リース | 3 社債(私募債) |
| 4 無担保融資 | 5 不動産担保融資 | 6 売掛債権担保融資 |
| 7 シンジケートローン | 8 クイックローン | 9 売掛債権担保融資保証制度 |
| 10 在庫(動産)担保融資 | 11 知的財産担保融資 | 12 ローン担保証券 |
| 13 その他() | | |

【用語解説】

シンジケートローン(協調融資)

企業の資金調達ニーズに対し, 複数の金融機関による協調融資団を組成し, 同一の条件, 契約書に基づき融資を行う手法

クイックローン

金融機関がスコアリングモデル(コンピューターで企業の財務情報や取引状況などの情報を分析し, 融資の貸倒れリスクを統計的に算出するモデル)等を使い, 通常の審査よりも短い期間で融資の可否審査を行う手法

売掛債権担保融資保証制度

中小企業者が売掛先に対して保有している売掛債権を担保として金融機関が融資を行う場合に, 信用保証協会が保証を行う制度

ローン担保証券

一定の条件のもとに, 金融機関が融資債権をまとめて証券化し, 投資家から資金を調達する手法

(お忙しいところ, 御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)